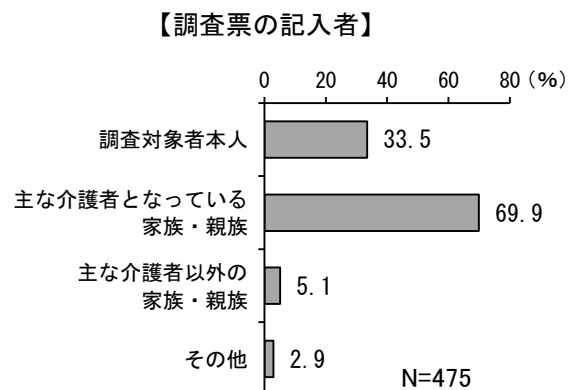


Ⅲ 在宅介護実態調査

1 対象者の属性

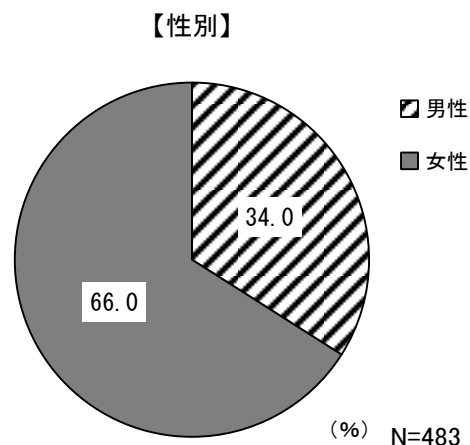
1-1 調査票の記入者

- 調査票の記入者は、「主な介護者となっている家族・親族」が69.9%、「調査対象者本人」が33.5%となっています。



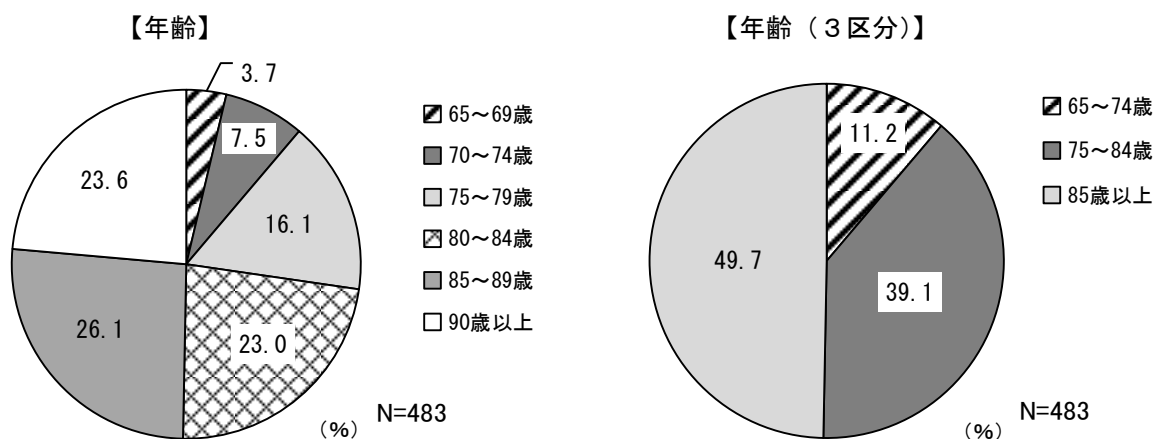
1-2 性別

- 調査対象者本人の性別は、「男性」が34.0%、「女性」が66.0%となっています。



1-3 年齢

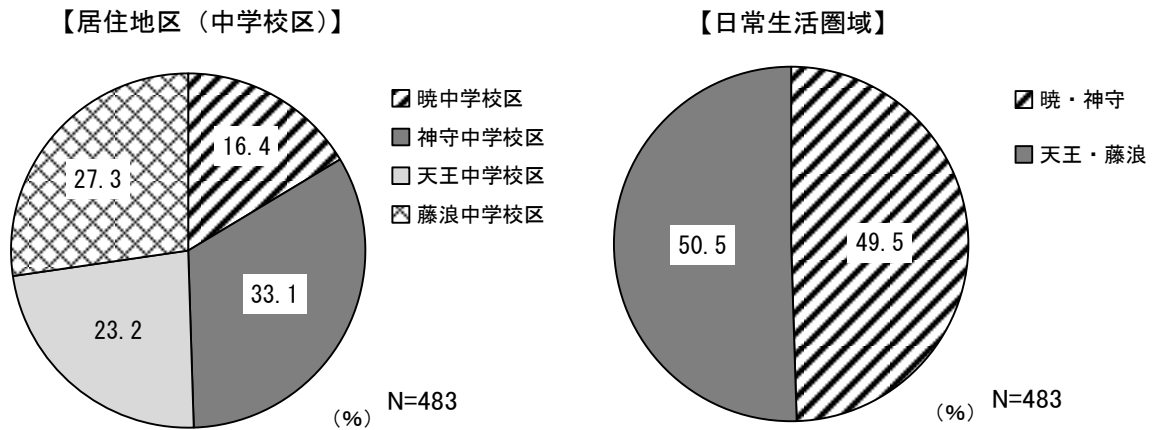
- 対象者本人の年齢は、「85～89歳」(26.1%)が最も高くなっています。3区分では、「65～74歳」が11.2%、「75～84歳」が39.1%、「85歳以上」が49.7%となっています。



※対象者の属性のうち「性別」「年齢」「居住地区」「要介護度」は、対象者の被保険者番号と要介護認定データを関連付けて集計しました。

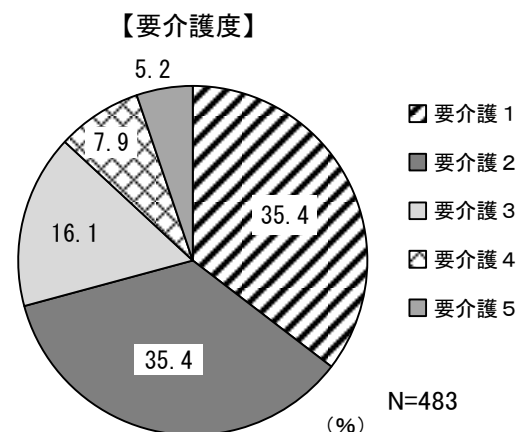
1-4 居住地区

- 居住地区（中学校区）は、「暁中学校区」が16.4%、「神守中学校区」が33.1%、「天王中学校区」が23.2%、「藤浪中学校区」が27.3%となっています。
- 日常生活圏域は、「暁・神守」が49.5%、「天王・藤浪」が50.5%となっています。



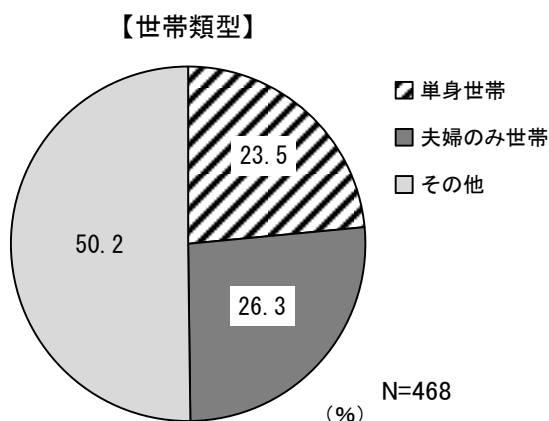
1-5 要介護度

- 要介護度は、「要介護1」「要介護2」がともに35.4%で最も高く、次いで「要介護3」（16.1%）、「要介護4」（7.9%）、「要介護5」（5.2%）となっています。



1-6 世帯類型

- 世帯類型は、「その他」（50.2%）が最も高く、「単身世帯」は23.5%、「夫婦のみ世帯」は26.3%となっています。
- 要介護度別でみると、「単身世帯」は、要介護1（32.3%）で最も高くなっていますが、要介護5の重度者でも20.0%となっています。



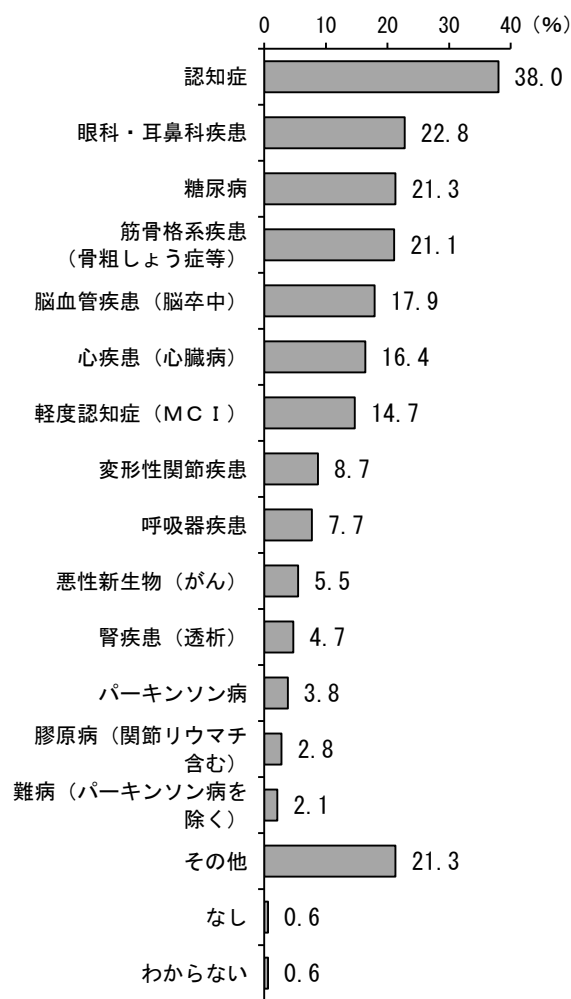
問1(2) 世帯類型

		件数	単身世帯	世帯のみ	その他
全体		468	110	123	235
		100.0	23.5	26.3	50.2
要介護度別	要介護1	167	54	38	75
		100.0	32.3	22.8	44.9
	要介護2	164	35	46	83
		100.0	21.3	28.0	50.6
	要介護3	74	8	24	42
		100.0	10.8	32.4	56.8
要介護4	38	8	8	22	
	100.0	21.1	21.1	57.9	
要介護5	25	5	7	13	
	100.0	20.0	28.0	52.0	

1-7 現在抱えている傷病

- 現在抱えている傷病は、「認知症」(38.0%)が最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患」(22.8%)、「糖尿病」(21.3%)、「筋骨格系疾患」(21.1%)が2割以上で高くなっています。また、「軽度認知症(MCI)」は14.7%となっています。
- 前回調査と比べると、「認知症」が8.9ポイント増加し、「変形性関節疾患」が7.3ポイント減少しています。

【現在抱えている傷病】



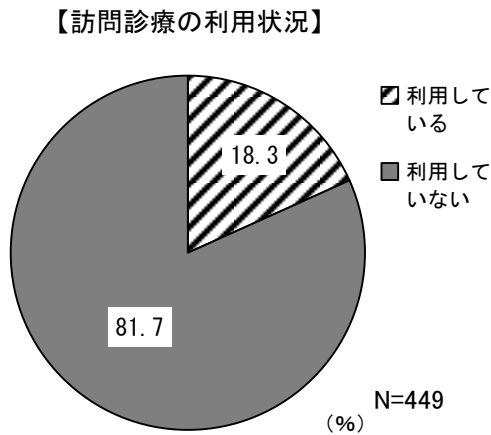
N=469

問1(3) 現在抱えている傷病

	件数	認知症	眼科・耳鼻科疾患	糖尿病	粗筋骨格系疾患 (骨粗しょう症等)	中脳血管疾患 (脳卒中)	心疾患 (心臓病)	I軽度認知症 (MCI)	変形性関節疾患	呼吸器疾患	悪性新生物 (がん)	腎疾患 (透析)	パーキンソン病	膠原病 (関節リウマチ含む)	難病 (パーキンソン病を除く)	その他	なし	わからない
今回調査 (R1)	469	38.0	22.8	21.3	21.1	17.9	16.4	14.7	8.7	7.7	5.5	4.7	3.8	2.8	2.1	21.3	0.6	0.6
前回調査 (H29)	539	29.1	26.7	17.8	26.5	19.1	17.4	16.0	8.2	3.7	3.3	5.0	4.3	1.9	18.2	2.6	2.0	

1-8 訪問診療の利用状況

- 現在、訪問診療を「利用している」人は18.3%となっています。
- 世帯類型別でみると、「利用している」は単身世帯(23.5%)で高くなっています。
- 要介護度別でみると、「利用している」は重度であるほど高く、要介護4で38.9%、要介護5で39.1%となっています。
- 前回調査と比べると、「利用している」は4.5ポイント増加しています。



問1(4) 訪問診療の利用状況

		件数	利用している (%)	利用していない (%)
全体		449	18.3	81.7
世帯類型別	単身世帯	102	23.5	76.5
	夫婦のみ世帯	110	20.9	79.1
	その他	227	14.5	85.5
要介護度別	要介護1	161	10.6	89.4
	要介護2	156	17.9	82.1
	要介護3	73	19.2	80.8
	要介護4	36	38.9	61.1
	要介護5	23	39.1	60.9

問1(4) 訪問診療の利用状況

	件数	利用している (%)	利用していない (%)
今回調査 (R1)	449	18.3	81.7
前回調査 (H29)	521	13.8	86.2

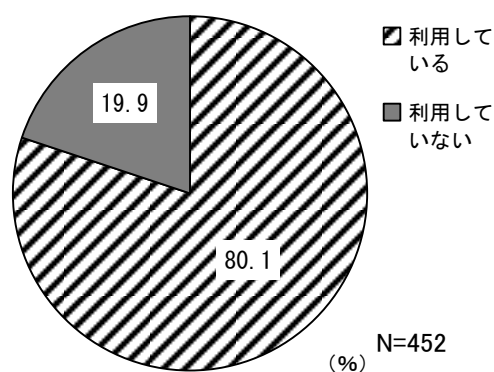
2 必要な介護やサービスの利用などについて

2-1 介護保険サービスの利用状況

問2(1) 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか。(○は1つ)

- 現在、介護保険サービスを「利用している」人は80.1%となっています。
- 世帯類型別で見ると、「単身世帯」(86.7%)の利用が高くなっています。
- 要介護度別で見ると、要介護3以上の利用がいずれも84%台で高くなっています。
- 前回調査と比べると、「利用している」は5.4ポイント増加しています。

【介護保険サービスの利用状況】



問2(1) 介護保険サービスの利用状況

		件数	利用している (%)	利用していない (%)
全体		452	80.1	19.9
世帯類型別	単身世帯	105	86.7	13.3
	夫婦のみ世帯	116	75.9	24.1
	その他	222	80.6	19.4
要介護度別	要介護1	158	75.9	24.1
	要介護2	158	80.4	19.6
	要介護3	73	84.9	15.1
	要介護4	38	84.2	15.8
	要介護5	25	84.0	16.0

問2(1) 介護保険サービスの利用状況

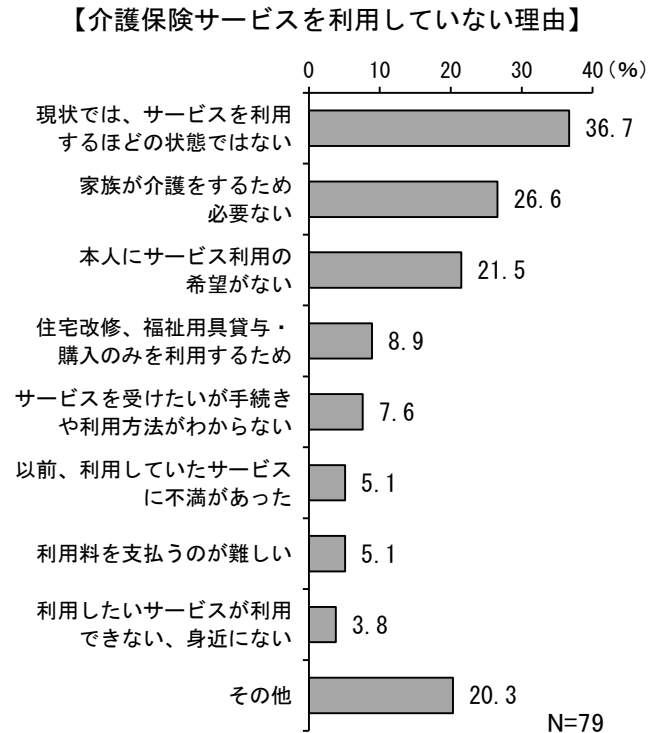
	件数	利用している (%)	利用していない (%)
今回調査 (R1)	452	80.1	19.9
前回調査 (H29)	501	74.7	25.3

2-2 介護保険サービスを利用していない理由

(問2(1)で「2 利用していない」を選んだ方に)

問2(1)-① 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 介護保険サービスを利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(36.7%)が最も高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」(26.6%)、「本人にサービス利用の希望がない」(21.5%)が高くなっています。



- 世帯類型別でみると、大きな差はみられませんでした。
- 要介護度別でみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」は要介護1（50.0%）で高く、「本人にサービス利用の希望がない」は要介護2（33.3%）で高くなっています。
- 前回調査と比べると、「家族が介護をするため必要ない」が16.9ポイント増加しています。

問2（1）-① 介護保険サービスを利用していない理由

	件数	の現状では、サービス利用しないほど	現状では、サービス利用しないほど	家族が介護をするため必要ない	本人にサービス利用の希望がない	用具・住宅改修・福祉用具購入のため	住居が修繕から利用	方法が継続できない	サービスを受けることができなかった	以前、サービス利用して満足	利用料を支払うのが難しい	身近にできない	利用したいサービス	その他
全体	79 100.0	29 36.7	21 26.6	17 21.5	7 8.9	6 7.6	4 5.1	4 5.1	4 5.1	3 3.8	16 20.3			
世帯類型別	単身世帯	12 100.0	5 41.7	-	-	2 16.7	1 8.3	1 8.3	1 8.3	-	1 8.3	4 33.3		
	夫婦のみ世帯	25 100.0	10 40.0	7 28.0	7 28.0	1 4.0	3 12.0	2 8.0	2 8.0	1 4.0	4 16.0			
	その他	38 100.0	13 34.2	13 34.2	10 26.3	4 10.5	2 5.3	1 2.6	1 2.6	1 2.6	7 18.4			
要介護度別	要介護1	34 100.0	17 50.0	9 26.5	6 17.6	1 2.9	3 8.8	1 2.9	1 2.9	2 5.9	7 20.6			
	要介護2	27 100.0	10 37.0	5 18.5	9 33.3	3 11.1	1 3.7	2 7.4	3 11.1	1 3.7	4 14.8			
	要介護3	8 100.0	2 25.0	4 50.0	1 12.5	1 12.5	-	-	-	-	2 25.0			
	要介護4	6 100.0	-	2 33.3	-	2 33.3	1 16.7	1 16.7	-	-	-	1 16.7		
	要介護5	4 100.0	-	1 25.0	1 25.0	-	1 25.0	-	-	-	-	2 50.0		

問2（1）-① 介護保険サービスを利用していない理由

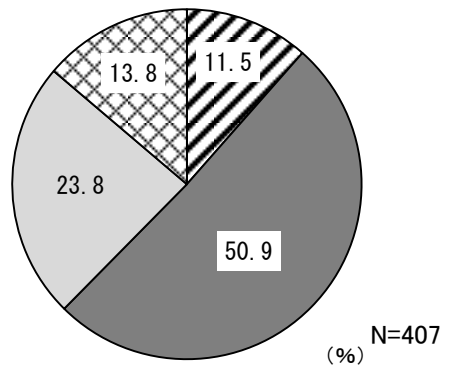
	件数	の現状では、サービス利用しないほど	現状では、サービス利用しないほど	家族が介護をするため必要ない	本人にサービス利用の希望がない	用具・住宅改修・福祉用具購入のため	住居が修繕から利用	方法が継続できない	サービスを受けることができなかった	以前、サービス利用して満足	利用料を支払うのが難しい	身近にできない	利用したいサービス	その他
今回調査 (R1)	79	36.7	26.6	21.5	8.9	7.6	5.1	5.1	5.1	3.8	20.3			
前回調査 (H29)	113	52.2	9.7	20.4	6.2	6.2	7.1	6.2	3.5	14.2				

2-3 今後受きたい介護

問2(2) ご本人は今後、どのような介護を受けたいですか。(○は1つ)

- 今後受きたい介護は、「介護保険制度のサービスや福祉サービス等を活用しながら自宅で介護してもらいたい」(50.9%)が最も高く、次いで「施設や病院などに入所(入院)したい」(23.8%)が高くなっています。また、「なるべく家族のみで、自宅で介護してもらいたい」は11.5%となっています。
- 世帯類型別で見ると、「施設や病院などに入所(入院)したい」は単身世帯(30.9%)で高くなっています。
- 要介護度別で見ると、「介護保険制度のサービスや福祉サービス等を活用しながら自宅で介護してもらいたい」は重度者ほど高く、逆に「施設や病院などに入所(入院)したい」は軽度者ほどおおむね高くなっています。

【今後受きたい介護】



- なるべく家族のみで、自宅で介護してもらいたい
- 介護保険サービス等を活用しながら自宅で介護してもらいたい
- 施設や病院などに入所(入院)したい
- わからない

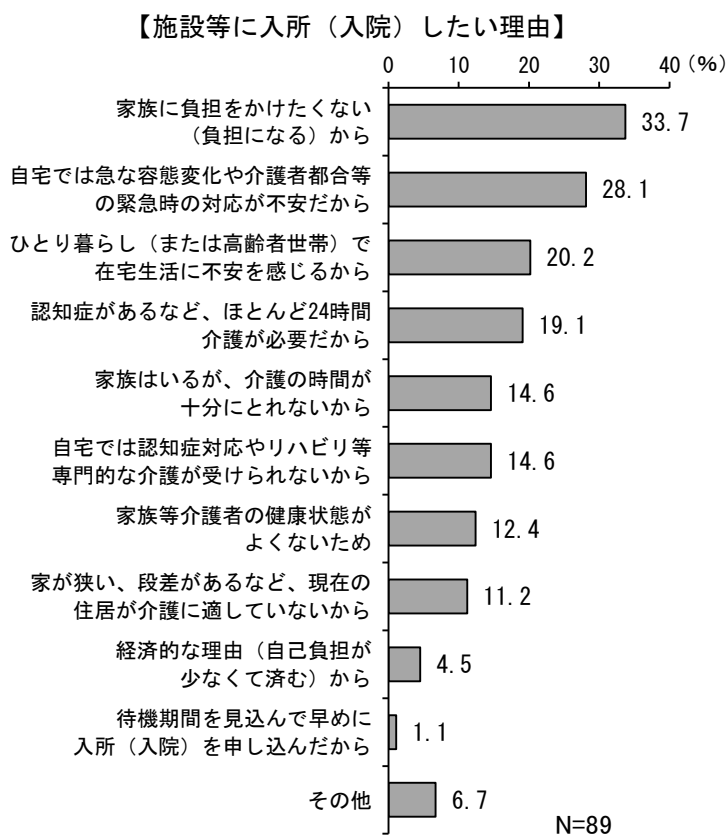
問2(2) 本人が今後受きたい介護

	件数	本人が今後受きたい介護				
		なるべく家族のみで、自宅で介護してもらいたい	介護保険サービス等を活用しながら自宅で介護してもらいたい	施設や病院などに入所(入院)したい	わからない	
全体	407	47	207	97	56	
	100.0	11.5	50.9	23.8	13.8	
世帯類型別	単身世帯	97	6	46	30	15
		100.0	6.2	47.4	30.9	15.5
	夫婦のみ世帯	101	19	51	20	11
	100.0	18.8	50.5	19.8	10.9	
その他	201	20	108	44	29	
	100.0	10.0	53.7	21.9	14.4	
要介護度別	要介護1	147	14	71	44	18
		100.0	9.5	48.3	29.9	12.2
	要介護2	135	19	66	27	23
		100.0	14.1	48.9	20.0	17.0
	要介護3	69	10	36	19	4
	100.0	14.5	52.2	27.5	5.8	
要介護4	35	3	20	5	7	
	100.0	8.6	57.1	14.3	20.0	
要介護5	21	1	14	2	4	
	100.0	4.8	66.7	9.5	19.0	

2-4 施設等に入所・入院したい理由

(問2(2)で「3 施設や病院などに入所(入院)したい」を選んだ方に)
 問2(2)-① その理由はなんですか。(〇は2つまで)

- 施設や病院等に入所(入院)したい理由は、「家族に負担をかけたくない(負担になる)から」(33.7%)が最も高く、次いで「自宅では、急な容態変化や介護者の都合などの緊急時の対応の面で不安だから」(28.1%)、「ひとり暮らし(または高齢者世帯)で在宅生活に不安を感じるから」(20.2%)、「認知症があるなど、ほとんど24時間介護が必要だから」(19.1%)が高くなっています。
- 前回調査と比べると、「認知症があるなど、ほとんど24時間介護が必要だから」が10.2ポイント、「家族に負担をかけたくない(負担になる)から」が6.9ポイントそれぞれ増加し、「ひとり暮らし(または高齢者世帯)で在宅生活に不安を感じるから」が8.4ポイント減少しています。



問2(2)-① 施設や病院等に入所(入院)したい理由

	件数	家族に負担をかけたくない(負担になる)から	自宅では急な容態変化や介護者都合等の緊急時の対応が不安だから	ひとり暮らし(または高齢者世帯)で在宅生活に不安を感じるから	認知症があるなど、ほとんど24時間介護が必要だから	家族はいるが、介護の時間が十分にとれないから	自宅では認知症対応やリハビリ等専門的な介護が受けられないから	家族等介護者の健康状態がよくないため	家が狭い、段差があるなど、現在の住居が介護に適していないから	経済的な理由(自己負担が少なくて済む)から	待機期間を見込んで早めに入所(入院)を申し込んだから	その他
今回調査 (R1)	89	33.7	28.1	20.2	19.1	14.6	14.6	12.4	11.2	4.5	1.1	6.7
前回調査 (H29)	112	26.8	32.1	28.6	8.9	20.5	15.2	10.7	13.4	6.3	2.7	2.7

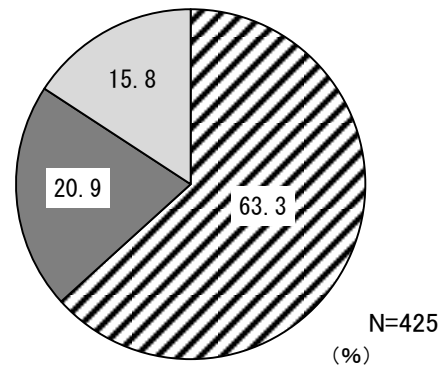
2-5 施設等への入所・入居の検討状況

問2(3) 現時点での、施設等※への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(○は1つ)

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

- 施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居を検討している」が20.9%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が15.8%で、「入所・入居は検討していない」は63.3%となっています。
- 世帯類型別でみると、「すでに入所・入居申し込みをしている」は単身世帯(25.7%)で高くなっています。
- 介護保険サービスの利用状況（問2(1)）別でみると、「入所・入居は検討していない」は利用している人(64.9%)で高くなっています。
- 要介護度別でみると、「すでに入所・入居申し込みをしている」は要介護5(26.1%)で高くなっています。
- 主な介護者（問3(1)）別でみると、「入所・入居は検討していない」は配偶者(75.0%)で高くなっています。

【施設等への入所・入居の検討状況】



入所・入居は検討していない
 入所・入居を検討している
 すでに入所・入居申し込みをしている

問2(3) 施設等への入所・入居の検討状況

		件数	検討していない (%)	検討している (%)	すでに申し込みをしている (%)
全体		425	63.3	20.9	15.8
世帯類型別	単身世帯	101	54.5	21.8	23.7
	夫婦のみ世帯	100	69.0	18.0	13.0
	その他	215	64.7	23.3	12.1
利用別	利用している	328	64.9	20.1	14.9
	利用していない	77	45.5	24.7	16.9
要介護度別	要介護1	152	60.5	24.3	15.1
	要介護2	148	66.9	20.3	12.8
	要介護3	68	63.2	19.1	17.6
	要介護4	34	58.8	20.6	20.6
	要介護5	23	65.2	8.7	26.1

問2(3) 施設等への入所・入居の検討状況

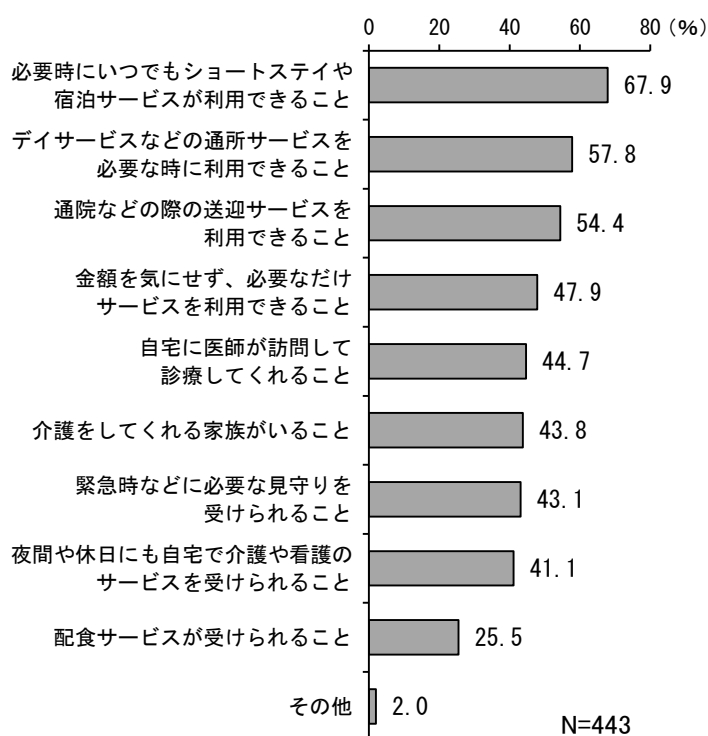
		件数	検討していない (%)	検討している (%)	すでに申し込みをしている (%)
全体		310	66.8	22.3	11.0
主な介護者別	配偶者	100	75.0	17.0	8.0
	子	124	62.1	23.4	14.5
	子の配偶者	47	63.8	23.4	12.8
	孫	2	100.0	-	-
	兄弟・姉妹	5	20.0	60.0	20.0
	その他	6	66.7	16.7	16.7

2-6 今後の在宅生活の継続に必要な支援の内容

問2(4) ずっと自宅で暮らし続けるためには、どのような支援があればいいと思いますか。(〇はいくつでも)

- 今後の在宅生活の継続に必要な支援の内容は、「必要な時にいつでもショートステイや宿泊サービスが利用できること」(67.9%)が最も高く、次いで「デイサービスなどの通所サービスを必要な時に利用できること」(57.8%)、「通院などの際の送迎サービスを利用できること」(54.4%)、「金額を気にせず、必要なだけサービスを利用できること」(47.9%)、「自宅に医師が訪問して診療してくれること」(44.7%)が高くなっています。
- 前回調査と比べると、「介護をしてくれる家族がいること」が6.5ポイント、「金額を気にせず、必要なだけサービスを利用できること」が6.1ポイント、「必要な時にいつでもショートステイや宿泊サービスが利用できること」が5.2ポイント、それぞれ増加しています。

【今後の在宅生活の継続に必要な支援の内容】



問2(4) 在宅生活を続けるために希望する支援

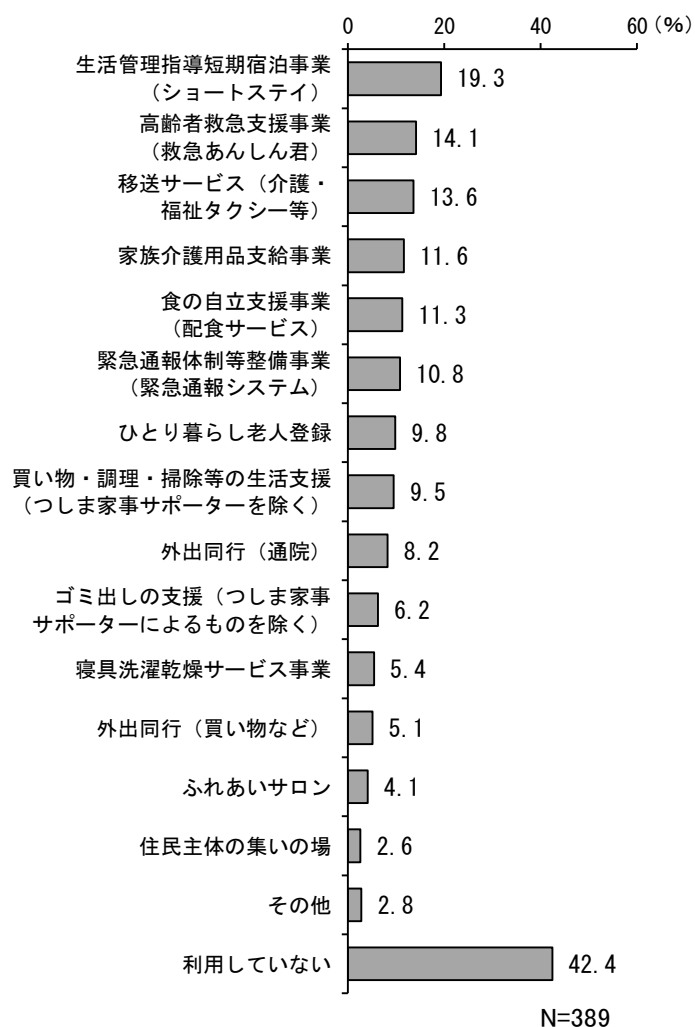
	件数	必要時にいつでも利用できるショートステイや宿泊サービス	必要な時に利用できるデイサービス	通院などの際の送迎サービス	金額を気にせず、必要なだけサービスを利用できること	自宅に医師が訪問して診療してくれること	介護をしてくれる家族	緊急時などに必要な見守りを受けられること	夜間や休日にも自宅で介護や看護のサービスを受けられること	配食サービスを受けられること	その他
今回調査 (R1)	443	67.9	57.8	54.4	47.9	44.7	43.8	43.1	41.1	25.5	2.0
前回調査 (H29)	512	62.7	56.6	52.7	41.8	43.8	37.3	45.7	36.1	30.5	1.4

2-7 介護保険サービス等以外のサービスの利用状況

問2(5) 現在、利用している、「介護保険サービス・介護予防・日常生活支援総合事業以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(〇はいくつでも)

- 「介護保険サービス・介護予防・日常生活支援総合事業以外」のサービスの利用状況をみると、「利用していない」が42.4%で最も高く、具体的な項目では、「生活管理指導短期宿泊事業（ショートステイ）」(19.3%)、「高齢者救急支援事業（救急あんしん君）」(14.1%)、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」(13.6%)の順で高くなっています。

【介護保険サービス等以外のサービスの利用状況】



III 在宅介護実態調査

- 世帯類型別でみると、「ひとり暮らし老人登録」「買い物・調理・掃除等の生活支援」「ゴミ出しの支援」は単身世帯で高くなっています。
- 要介護度別でみると、「生活管理指導短期宿泊事業（ショートステイ）」は要介護4以上で高くなっています。

問2（5） 現在利用している介護保険サービス・総合事業以外の支援・サービス

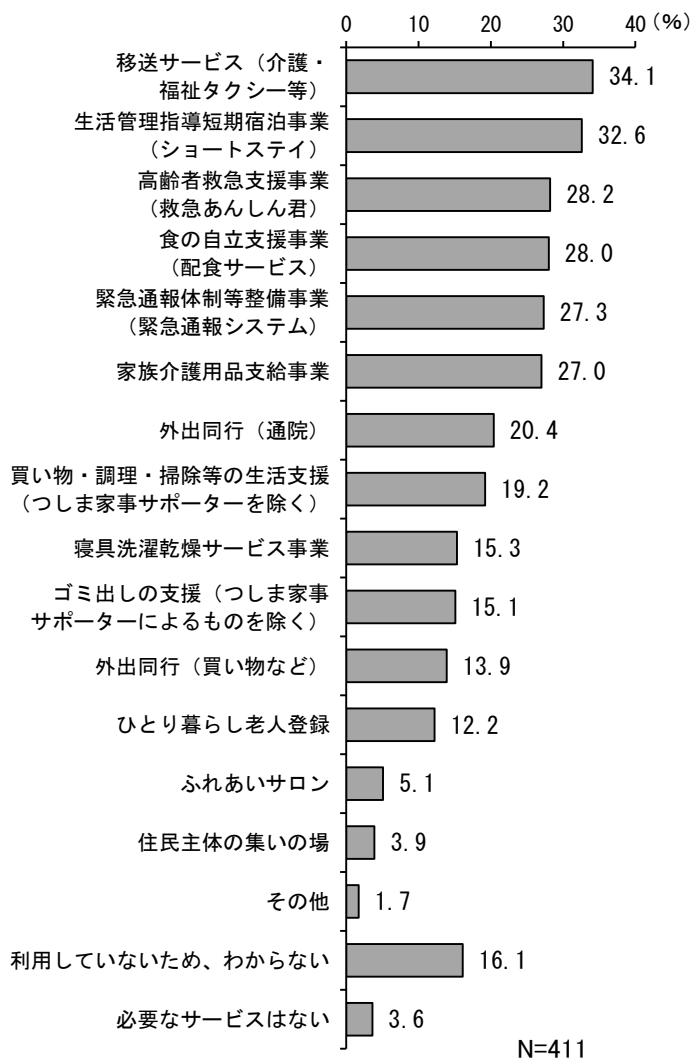
	件数	生活管理指導短期宿泊事業（ショートステイ）	高齢者救急支援事業（救急あんしん君）	福祉タクシー等	移送サービス（介護・福祉）	家族介護用品支給事業	食の自立支援事業（配食サービス）	緊急通報体制等整備事業（緊急通報システム）	ひとり暮らし老人登録	買い物・調理・掃除等の生活支援（つしま家事ポーターを除く）	外出同行（通院）	ゴミ出しの支援（つしま家事ポーターによるものを除く）	寝具洗濯乾燥サービス	外出同行（買い物など）	ふれあいサロン	住民主体の集いの場	その他	利用していない	
全体	389 100.0	75 19.3	55 14.1	53 13.6	45 11.6	44 11.3	42 10.8	38 9.8	37 9.5	32 8.2	24 6.2	21 5.4	20 5.1	16 4.1	10 2.6	11 2.8	165 42.4		
世帯類型別	単身世帯	91 100.0	11 12.1	19 20.9	9 9.9	10 11.0	17 18.7	17 18.7	29 31.9	24 26.4	10 11.0	14 15.4	8 8.8	9 9.9	7 7.7	3 3.3	1 1.1	24 26.4	
	夫婦のみ世帯	92 100.0	24 26.1	20 21.7	24 26.1	16 17.4	13 14.1	16 17.4	5 5.4	8 8.7	12 13.0	5 5.4	6 6.5	9 9.8	3 3.3	3 3.3	3 3.3	30 32.6	
	その他	198 100.0	40 20.2	16 8.1	19 9.6	19 9.6	14 7.1	8 4.0	4 2.0	5 2.5	9 4.5	5 2.5	6 3.0	2 1.0	6 3.0	4 2.0	7 3.5	105 53.0	
要介護度別	要介護1	145 100.0	27 18.6	18 12.4	11 7.6	14 9.7	20 13.8	14 9.7	17 11.7	20 13.8	9 6.2	10 6.9	5 3.4	8 5.5	7 4.8	6 4.1	3 2.1	68 46.9	
	要介護2	138 100.0	20 14.5	23 16.7	23 16.7	16 11.6	17 12.3	16 11.6	17 12.3	13 9.4	14 10.1	11 8.0	12 8.7	9 6.5	6 4.3	3 2.2	2 1.4	57 41.3	
	要介護3	58 100.0	13 22.4	6 10.3	11 19.0	8 13.8	4 6.9	9 15.5	1 1.7	2 3.4	4 6.9	2 3.4	3 5.2	2 3.4	3 5.2	-	-	5 8.6	25 43.1
	要介護4	30 100.0	9 30.0	6 20.0	5 16.7	6 20.0	1 3.3	2 6.7	-	-	3 10.0	-	-	-	-	-	-	-	10 33.3
	要介護5	18 100.0	6 33.3	2 11.1	3 16.7	1 5.6	2 11.1	1 5.6	3 16.7	2 11.1	2 11.1	2 11.1	1 5.6	1 5.6	1 5.6	-	1 5.6	1 5.6	5 27.8

2-8 今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービス

問2(6) 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

● 今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービスは、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（34.1%）が最も高く、次いで「生活管理指導短期宿泊事業（ショートステイ）」（32.6%）、「高齢者救急支援事業（救急あんしん君）」（28.2%）、「食の自立支援事業（配食サービス）」（28.0%）、「緊急通報体制等整備事業（緊急通報システム）」（27.3%）、「家族介護用品支給事業」（27.0%）が高くなっています。また、「利用していないため、わからない」は16.1%となっています。

【今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービス】

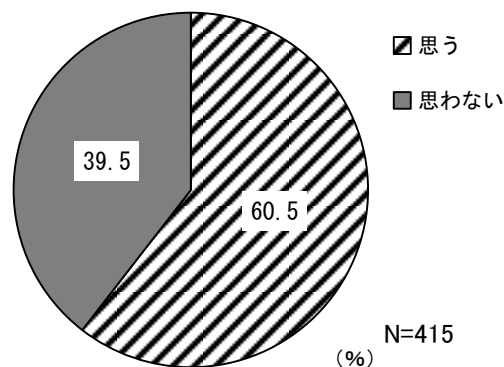


2-9 在宅生活の継続のための在宅医療の利用意向

問2(7) あなたは、在宅医療（通院が困難な方の自宅に医師が訪問して行う医療）を利用して、自宅での生活を継続したいと思いますか。（○は1つ）

- 在宅医療を利用して在宅生活を継続したいと「思う」人は、60.5%となっています。
- 世帯類型別でみると、「思う」人は夫婦のみ世帯（63.8%）でやや高くなっています。
- 要介護度別でみると、「思う」人は要介護5（75.0%）で高くなっています。
- 主な介護者別でみると、「思う」は配偶者（72.5%）で高くなっています。

【在宅生活の継続のための在宅医療の利用意向】



問2(7) 在宅医療の利用意向

		件数	思う	思わない
全体		415	251	164
		100.0	60.5	39.5
世帯類型別	単身世帯	96	55	41
		100.0	57.3	42.7
	夫婦のみ世帯	94	60	34
	100.0	63.8	36.2	
要介護度別	その他	218	132	86
		100.0	60.6	39.4
	要介護1	156	81	75
		100.0	51.9	48.1
	要介護2	138	92	46
	100.0	66.7	33.3	
	要介護3	65	40	25
		100.0	61.5	38.5
	要介護4	32	20	12
		100.0	62.5	37.5
	要介護5	24	18	6
		100.0	75.0	25.0

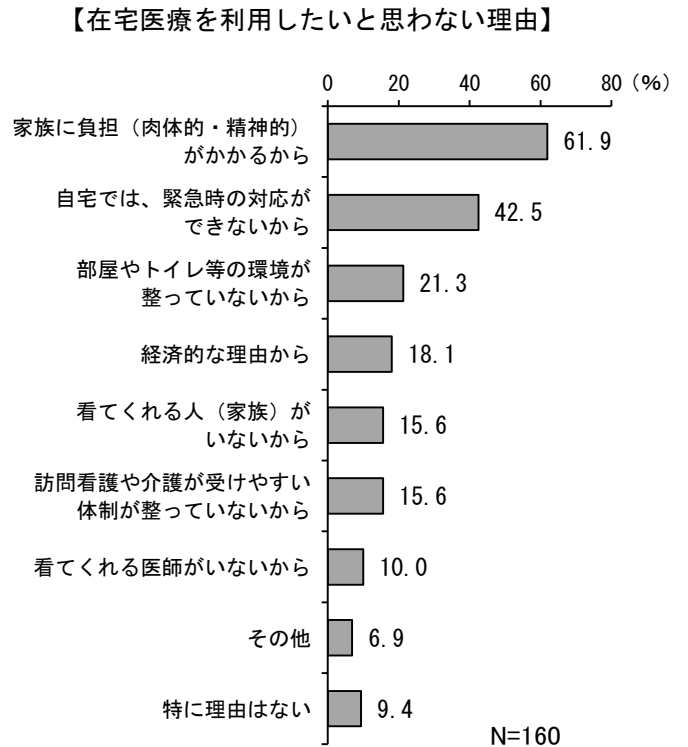
問2(7) 在宅医療の利用意向

		件数	思う	思わない
全体		307	199	108
		100.0	64.8	35.2
主な介護者別	配偶者	102	74	28
		100.0	72.5	27.5
	子	125	77	48
		100.0	61.6	38.4
	子の配偶者	42	25	17
		100.0	59.5	40.5
	孫	1	-	1
	100.0	-	100.0	
	兄弟・姉妹	5	3	2
		100.0	60.0	40.0
	その他	6	3	3
		100.0	50.0	50.0

2-10 在宅医療を利用したいと思わない理由

(問2(7)で「2 思わない」を選んだ方に)
 問2(7)-① 在宅医療を利用したいと思わない理由はなんですか。(〇はいくつでも)

- 在宅医療を利用したいと思わない理由は、「家族に負担(肉体的・精神的)がかかるから」(61.9%)が最も高く、次いで「自宅では、緊急時の対応ができないから」(42.5%)、「部屋やトイレ等の環境が整っていないから」(21.3%)、「経済的な理由から」(18.1%)が高くなっています。
- 世帯類型別でみると、「見てくれる人(家族)がいないから」は単身世帯(40.0%)で高く、「家族に負担(肉体的・精神的)がかかるから」は夫婦のみ世帯(71.9%)で高くなっています。
- 要介護度別でみると、「訪問看護や介護が受けやすい体制が整っていないから」は要介護2(26.7%)で高く、「見てくれる医師がいないから」は要介護3(20.8%)で高くなっています。



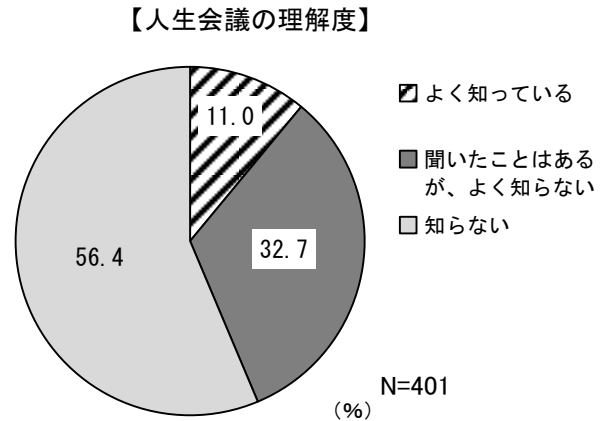
問2(7)-① 在宅医療を利用したいと思わない理由

	件数	家族に負担(肉体的・精神的)がかかるから	家族に負担(肉体的・精神的)がかかるから	自宅では、緊急時の対応ができないから	部屋やトイレ等の環境が整っていないから	経済的な理由から	家族(見てくれる人)がいないから	訪問看護や介護が受けやすい体制が整っていないから	見てくれる医師がいないから	その他	特に理由はない
全体	160 100.0	99 61.9	68 42.5	34 21.3	29 18.1	25 15.6	25 15.6	16 10.0	11 6.9	15 9.4	
世帯類型別	単身世帯	40 100.0	20 50.0	15 37.5	10 25.0	10 25.0	16 40.0	7 17.5	4 10.0	2 5.0	3 7.5
	夫婦のみ世帯	32 100.0	23 71.9	15 46.9	3 9.4	5 15.6	3 9.4	7 21.9	4 12.5	2 6.3	5 15.6
	その他	85 100.0	54 63.5	37 43.5	21 24.7	13 15.3	6 7.1	10 11.8	8 9.4	7 8.2	6 7.1
要介護度別	要介護1	74 100.0	51 68.9	28 37.8	14 18.9	13 17.6	12 16.2	8 10.8	5 6.8	7 9.5	6 8.1
	要介護2	45 100.0	25 55.6	23 51.1	12 26.7	6 13.3	5 11.1	12 26.7	3 6.7	3 6.7	3 6.7
	要介護3	24 100.0	15 62.5	12 50.0	5 20.8	6 25.0	3 12.5	4 16.7	5 20.8	1 4.2	3 12.5
	要介護4	12 100.0	6 50.0	3 25.0	3 25.0	3 25.0	3 25.0	1 8.3	2 16.7	-	2 16.7
	要介護5	5 100.0	2 40.0	2 40.0	-	1 20.0	2 40.0	-	1 20.0	-	1 20.0

2-11 人生会議の理解度

問2(8) 万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、繰り返し話し合うこと、または人生会議について知っていますか。(○は1つ)

- 人生会議については、「よく知っている」が11.0%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が32.7%で、合わせて『聞いたことはある』人が43.7%となっています。また、「知らない」は56.4%となっています。



- 世帯類型別でみると、「よく知っている」は単身世帯 (16.3%) で高くなっています。
- 要介護度別でみると、「よく知っている」は要介護4 (19.4%)、要介護5 (18.2%) の重度者で高くなっています。
- 主な介護者別でみると、「知らない」は子の配偶者 (77.8%) で高くなっています。

問2(8) 人生会議の理解度

		件数	よく知っている	が聞いたこと知らはあ	知らない
全体		401	44	131	226
		100.0	11.0	32.7	56.4
世帯類型別	単身世帯	92	15	28	49
		100.0	16.3	30.4	53.3
	夫婦のみ世帯	94	10	34	50
	100.0	10.6	36.2	53.2	
	その他	209	19	67	123
	100.0	9.1	32.1	58.9	
要介護度別	要介護1	140	15	43	82
		100.0	10.7	30.7	58.6
	要介護2	142	15	49	78
		100.0	10.6	34.5	54.9
	要介護3	66	4	23	39
	100.0	6.1	34.8	59.1	
	要介護4	31	6	9	16
	100.0	19.4	29.0	51.6	
	要介護5	22	4	7	11
	100.0	18.2	31.8	50.0	

問2(8) 人生会議の理解度

		件数	よく知っている	が聞いたこと知らはあ	知らない
全体		300	36	98	166
		100.0	12.0	32.7	55.3
主な介護者別	配偶者	101	14	41	46
		100.0	13.9	40.6	45.5
	子	115	16	36	63
		100.0	13.9	31.3	54.8
	子の配偶者	45	1	9	35
		100.0	2.2	20.0	77.8
	孫	2	1	1	-
	100.0	50.0	50.0	-	
	兄弟・姉妹	6	-	-	6
	100.0	-	-	100.0	
	その他	4	1	2	1
	100.0	25.0	50.0	25.0	

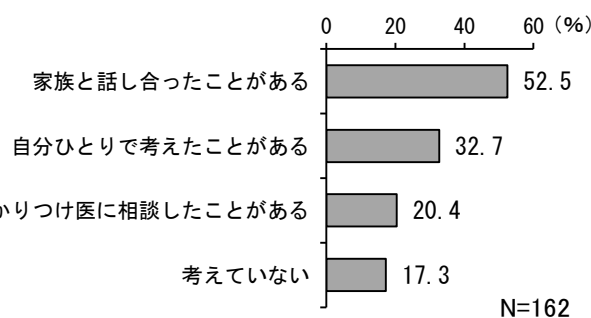
2-12 人生会議の実施状況

(問2(8)で「1 よく知っている」または「2 聞いたことはあるが、よく知らない」を選んだ方に)

問2(8)-① 万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、繰り返し話し合うこと、または人生会議の状況についてお聞かせください。(〇はいくつでも)

- 人生会議の実施状況は、「家族と話し合ったことがある」(52.5%)が最も高く、次いで「自分ひとりで考えたことがある」(32.7%)、「かかりつけ医に相談したことがある」(20.4%)となっています。また、「考えていない」は17.3%となっています。

【人生会議の実施状況】



- 世帯類型別でみると、「家族と話し合ったことがある」は単身世帯(57.9%)でやや高くなっています。
- 要介護度別でみると、「家族と話し合ったことがある」は要介護5(60.0%)と要介護1(59.6%)で高くなっています。
- 主な介護者別でみると、「考えていない」は子(6.0%)で低くなっています。

問2(8)-① 人生会議の状況

		件数	家族と話し合った	自分ひとりで考えた	かかりつけ医に相談した	考えていない
全体		162	85	53	33	28
		100.0	52.5	32.7	20.4	17.3
世帯類型別	単身世帯	38	22	9	6	7
		100.0	57.9	23.7	15.8	18.4
	夫婦のみ世帯	41	22	14	11	7
	100.0	53.7	34.1	26.8	17.1	
	その他	81	40	30	15	14
	100.0	49.4	37.0	18.5	17.3	
要介護度別	要介護1	52	31	13	9	7
		100.0	59.6	25.0	17.3	13.5
	要介護2	60	31	20	12	12
		100.0	51.7	33.3	20.0	20.0
	要介護3	26	11	12	5	5
	100.0	42.3	46.2	19.2	19.2	
	要介護4	14	6	7	5	2
	100.0	42.9	50.0	35.7	14.3	
	要介護5	10	6	1	2	2
	100.0	60.0	10.0	20.0	20.0	

問2(8)-① 人生会議の状況

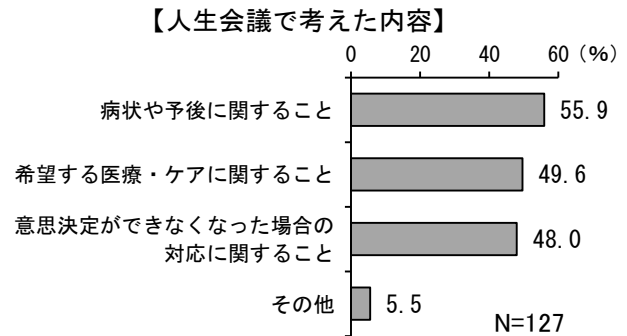
		件数	家族と話し合った	自分ひとりで考えた	かかりつけ医に相談した	考えていない
全体		125	66	43	28	17
		100.0	52.8	34.4	22.4	13.6
主な介護者別	配偶者	51	27	16	15	9
		100.0	52.9	31.4	29.4	17.6
	子	50	28	20	10	3
		100.0	56.0	40.0	20.0	6.0
	子の配偶者	10	6	2	-	2
		100.0	60.0	20.0	-	20.0
	孫	1	1	1	-	-
	100.0	100.0	100.0	-	-	
	兄弟・姉妹	-	-	-	-	-
	100.0	-	-	-	-	
	その他	2	1	-	-	1
	100.0	50.0	-	-	50.0	

2-13 人生会議で考えた内容

(問2(8)-①で「1 自分ひとりで考えたことがある」から「3 家族と話し合ったことがある」を選んだ方に)

問2(8)-② どのような内容を考えましたか、または話しましたか。(〇はいくつでも)

- 人生会議で考えた内容は、「病状や予後に関すること」が55.9%で最も高くなっていますが、「希望する医療・ケアに関すること」(49.6%)、「意思決定ができなくなった場合の対応に関すること」(48.0%)も約5割と高くなっています。
- 世帯類型別でみると、「意思決定ができなくなった場合の対応に関すること」は夫婦のみ世帯(57.6%)でやや高くなっています。
- 要介護度別でみると、「病状や予後に関すること」は要介護3(70.0%)で、「希望する医療・ケアに関すること」は要介護5(62.5%)で、「意思決定ができなくなった場合の対応に関すること」は要介護2(59.1%)でそれぞれ高くなっています。



問2(8)-② 人生会議の内容

		件数	病状や予後に関すること	希望する医療・ケアに関すること	意思決定ができなくなった場合の対応に関すること	その他
全体		127	71	63	61	7
		100.0	55.9	49.6	48.0	5.5
世帯類型別	単身世帯	29	13	15	16	-
		100.0	44.8	51.7	55.2	-
	夫婦のみ世帯	33	20	17	19	2
	100.0	60.6	51.5	57.6	6.1	
	その他	63	37	30	26	5
	100.0	58.7	47.6	41.3	7.9	
要介護度別	要介護1	43	24	16	19	-
		100.0	55.8	37.2	44.2	-
	要介護2	44	26	23	26	1
		100.0	59.1	52.3	59.1	2.3
	要介護3	20	14	12	8	2
	100.0	70.0	60.0	40.0	10.0	
	要介護4	12	6	7	4	2
	100.0	50.0	58.3	33.3	16.7	
	要介護5	8	1	5	4	2
	100.0	12.5	62.5	50.0	25.0	

2-14 介護・高齢者福祉に対する意見・要望

問2(9) その他、ご本人からの介護・高齢者福祉に対するご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

- 介護・高齢者福祉に対して、下記のような意見・要望を53件いただきました。

No.	内容	件数
1	在宅サービスの利用について	12
2	不安について	7
3	経済的支援について	5
4	サービスの充実について	4
5	地域のたすけあいについて	3
6	人生会議（家族との話し合い）について	3
7	介護認定について	3
8	その他	16

1 在宅サービスの利用について

- ・今の所、ショートステイやデイサービスを利用しているので安心である。
- ・デイサービス、ヘルパーを週1回お願いして一人で生活している。
- ・本人は週3回利用しているが、気を遣うせいか2回位が良いらしい。
- ・本人は自分の現状から私共に心配をかけまいと思っているのか、すぐに金がかかるだろうと言う。
- ・出来るだけ家に居たいので出来るだけの助けをしてほしい。
- ・現状では、市からの情報、介護ケアマネジャーのアドバイスを受け、今できるサービス、支援を受け、自宅介護を続けたい。
- ・なるべく家でぼんやりしていないように、デイサービスに行きたい人は制限しないで行かせてあげたらいいと思う。
- ・家が散らかるのでゴミを片付けることを何とかしたい。
- ・入浴等を週2回位したいので、家で入浴出来れば良いと思う。
- ・現在リハビリが週1回しか受けられないが、最低2回は受けて早く動けるようになりたい。
- ・ショートステイなど、希望しても予約がいっぱいで利用できないことが多い。
- ・週末にショートステイを利用したい。なかなか予約が取れずキャンセル待ちが多い。

2 不安について

- ・本人が認知症だが、ヘルパー、訪問治療、デイサービス等を利用し、充実した生活を送っていると理解しているらしい。しかし年齢とともに体の衰えや病気など不安もあるようである。これからも津島に住んで良かったと思えるよう介護福祉に力を入れていただくようお願いしたい。
- ・車イス生活なので、災害時に避難先で生活出来るか（トイレ）、夜間緊急時に支援が受けられるかが心配である。
- ・現在高齢夫婦年金生活なので、今後の医療費の問題が心配。一般誰でも入居出来る、値打ちな有料施設が必要。

- ・老々介護のため介護者も日々生活の不安がある。病気になった時の対応を誰に頼めばよいか。
- ・一人で居る時に脳卒中でも起こしたらどうなるかを考えると心配になる。
- ・一人の生活は寂しい。
- ・介護する妻がいなくなったらどうするのか、どうなるのか、不安がある。

3 経済的支援について

- ・在宅治療を望んでいるが、建物が古いため段差が多く、生活するのに困難。住宅改修のためのお金がない。
- ・サービスを受けるにもお金がかかるため、お金のことが心配で、利用するのに乗り気にならない。
- ・経済的支援。自宅介護が困難になった時に施設に入居出来ること。
- ・デイ、ショートステイの金額をできるだけ安くしてほしい。紙おむつの補助をしてほしい。
- ・介護高齢者福祉には本当に感謝している。できるだけ本人の経済的負担にならないようお願いしたい。本人が安心・安全に生活できることが幸せではないか。

4 サービスの充実について

- ・デイサービスで、人によるサービスの偏りがひどかったので、他所に変わった。
- ・ショートステイや施設の入所が安心してできるように、スタッフの質の向上と人数を十分に増やしてほしい。
- ・介護タクシー、配食の充実。
- ・定員オーバー受け入れ拒否、入所先がなかなかない。土日、平日夜間対応サービスの拡大希望等。

5 地域のたすけあいについて

- ・地域包括支援センターを有効活用し（情報、知識、病院、対応等）、少しでもゆとりある前準備ができるよう指導をお願いしたい。特に老々介護、老々生活面で。
- ・老夫婦の二人暮らしで、転んだりしても助けられない、そんな時少し助けてくれること（救急車を呼ぶのは大げさ）が気軽にできる人がいるといい。
- ・人の苦しみは本人にしかわからない。身近に手を出してくれる人が何よりの薬。大丈夫ですか、でなく、夢のある言葉をかけてほしい。

6 人生会議（家族との話し合い）について

- ・一人生活で透析を受けており、子供達とは先のことを良く話すがなかなか結論は出ない。自宅の固定資産税や高住への支払いも大変で、この年になりこんな時が来るとはあまり考えていなかった。
- ・延命治療をするかどうか義父母の子に気持ちを確認した。
- ・延命治療を希望しないことについて、紙に記名・捺印して家族に渡してある。

7 介護認定について

- ・介護の認定に関わらず、希望するサービスを受けたい。認定がないと経済的、精神的、肉体的に不安がある。
- ・自宅がなく家に帰れない人、介護者が孫のみで会社を辞めさせて介護させるわけにはいかない人が

有料老人ホームに入っている場合、要介護認定を外されてしまうと今いる場所を出ないといけないので、認定調査時はそのことを汲んでほしい。

- ・他の県とか市より津島市の認定に家族の意見が取り入れられない。家族介護の大変さを理解して、相談する場所の利用時間（曜日）の考慮をお願いしたい。

8 その他

- ・年が重なって居るので、町内の役はやれない。デイサービス週3日以上、食事を週3日取っているが、もうすぐ廻ってくる。
- ・今現在テレビの問題とか聞くと、それは受けていないと言って受けてくれない。また、介護福祉士に対し、何かにつけて聞いてくれない。
- ・現状維持。
- ・現在の生活に大変満足している。
- ・将来的には施設と考えているが、施設がどんなところか不安があるため、もっと気軽に見学ができれば良い。
- ・通院等にタクシー料金のサービス。
- ・介護者にあまり迷惑をかけたくない。

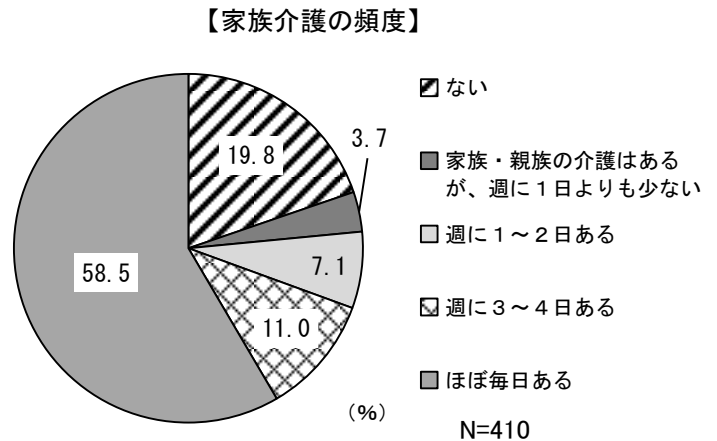
（以下、介護者の意見）

- ・デイサービス等利用して毎月生活しているが、限界はある。施設に入所させたくても、同居していない家族が入所に反対していたら、介護する者は限界を超えても介護しなくてはいけない。他人にはわからない難しい問題。
- ・同居していても朝の1時間でもヘルパーに頼りたい。
- ・本人が認知症の進行で理解力の低下・排泄の感覚も乏しいため 有料老人ホームに入居することになった。現在後見人が財産管理を行い、定期通院し体調管理することができている。
- ・本人は高齢から必読対応が難しく、読み解きサービスが必要になる。
- ・認知症であるため、文章を読み聞かせたりこの事案を納得させたりするのが困難。
- ・本人は認知症が進み、よくわからない。
- ・脳障害の麻痺で意思の疎通ができないので、家族が本人に代わってすべて執り行っている。
- ・本人は知覚障害のため、物事の判断ができない。
- ・本人は考える能力がない。

2-15 家族介護の頻度

問2 (10) ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（〇は1つ）

- 家族・親族からの介護の頻度は、「ほぼ毎日ある」(58.5%)が最も高くなっています。また、「ない」は19.8%となっています。
- 世帯類型別でみると、「ほぼ毎日ある」はその他の世帯(68.6%)で高くなっています。
- 前回調査と比べると、「ほぼ毎日ある」が10.6ポイント増加しています。



問2 (10) 家族や親族による介護の頻度

		件数	ない	日は家族よりも少ないに介護	週に1~2日ある	週に3~4日ある	ほぼ毎日ある
全体		410	81	15	29	45	240
		100.0	19.8	3.7	7.1	11.0	58.5
世帯類型別	単身世帯	92	28	5	12	18	29
		100.0	30.4	5.4	13.0	19.6	31.5
	夫婦のみ世帯	100	20	3	6	8	63
	100.0	20.0	3.0	6.0	8.0	63.0	
	その他	210	29	7	11	19	144
	100.0	13.8	3.3	5.2	9.0	68.6	
要介護度別	要介護1	143	34	4	9	19	77
		100.0	23.8	2.8	6.3	13.3	53.8
	要介護2	149	22	6	15	16	90
		100.0	14.8	4.0	10.1	10.7	60.4
	要介護3	66	15	3	2	6	40
	100.0	22.7	4.5	3.0	9.1	60.6	
	要介護4	33	7	1	2	3	20
	100.0	21.2	3.0	6.1	9.1	60.6	
	要介護5	19	3	1	1	1	13
	100.0	15.8	5.3	5.3	5.3	68.4	

問2 (10) 家族や親族による介護の頻度

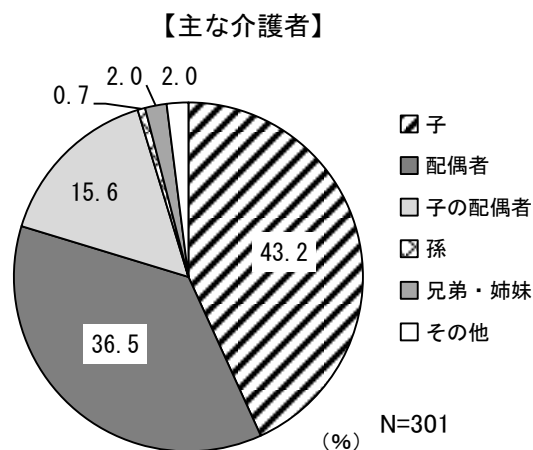
	件数	ない	日は家族よりも少ないに介護	週に1~2日ある	週に3~4日ある	ほぼ毎日ある
今回調査 (R1)	410	19.8	3.7	7.1	11.0	58.5
前回調査 (H29)	424	22.2	7.5	13.4	9.0	47.9

3 主な介護者の方について《介護者への質問》

3-1 主な介護者の続柄

問3 (1) 主な介護者の方は、どなたですか。ご本人からの続柄でお答えください。(○は1つ)

- 主な介護者は、「子」(43.2%)が最も高く、次いで「配偶者」(36.5%)、「子の配偶者」(15.6%)が高くなっています。
- 前回調査と比べると、「配偶者」が7.1ポイント増加しています。



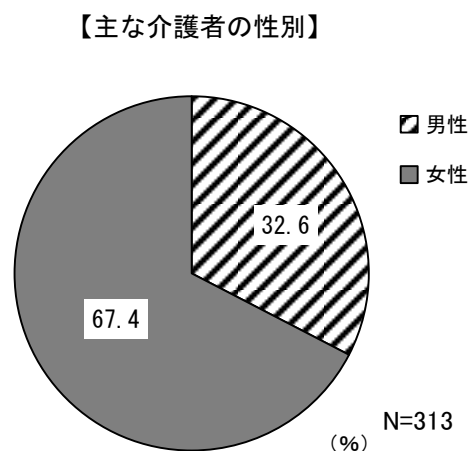
問3 (1) 主な介護者

	件数	子	配偶者	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他
今回調査 (R1)	301	43.2	36.5	15.6	0.7	2.0	2.0
前回調査 (H29)	306	49.0	29.4	15.0	0.7	2.0	3.9

3-2 主な介護者の性別

問3 (2) 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(○は1つ)

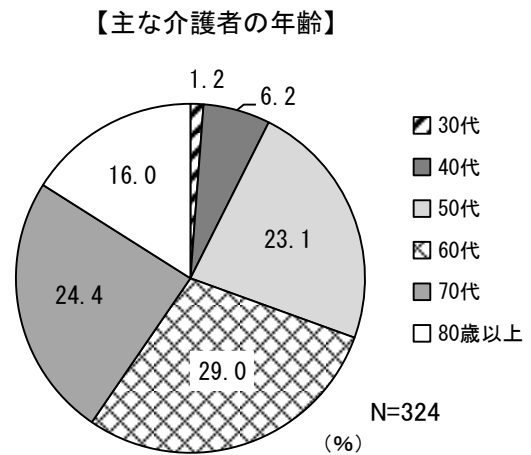
- 主な介護者の性別は、「女性」が67.4%、「男性」が32.6%で、女性の割合が男性の約2倍となっています。



3-3 主な介護者の年齢

問3 (3) 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)

- 主な介護者の年齢は、「60代」(29.0%)が最も高く、次いで「70代」(24.4%)、「50代」(23.1%)が高くなっています。『70歳以上』(「70代」と「80歳以上」の計)が40.4%を占めています。
- 性・年齢別で見ると、65～74歳の男性では「60代」(58.8%)、75～84歳の男性では「70代」(64.0%)、85歳以上の男性では「80歳以上」(38.2%)がそれぞれ最も高くなっています。また、75～84歳の女性では「50代」(43.2%)、85歳以上の女性では「60代」(50.8%)がそれぞれ最も高くなっています。
- 前回調査と比べると、『70歳以上』は29.1%から11.3ポイント増加しています。



問3 (3) 主な介護者の年齢

		件数	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	
全体		324	4	20	75	94	79	52	
		100.0	1.2	6.2	23.1	29.0	24.4	16.0	
性・年齢別	男性	65～74歳	17	-	2	-	10	5	-
			100.0	-	11.8	-	58.8	29.4	-
		75～84歳	50	1	3	4	-	32	10
		100.0	2.0	6.0	8.0	-	64.0	20.0	
		85歳以上	34	-	3	5	12	1	13
		100.0	-	8.8	14.7	35.3	2.9	38.2	
女性	65～74歳	19	1	2	1	1	13	1	
		100.0	5.3	10.5	5.3	5.3	68.4	5.3	
	75～84歳	74	1	9	32	5	8	19	
	100.0	1.4	12.2	43.2	6.8	10.8	25.7		
	85歳以上	130	1	1	33	66	20	9	
	100.0	0.8	0.8	25.4	50.8	15.4	6.9		

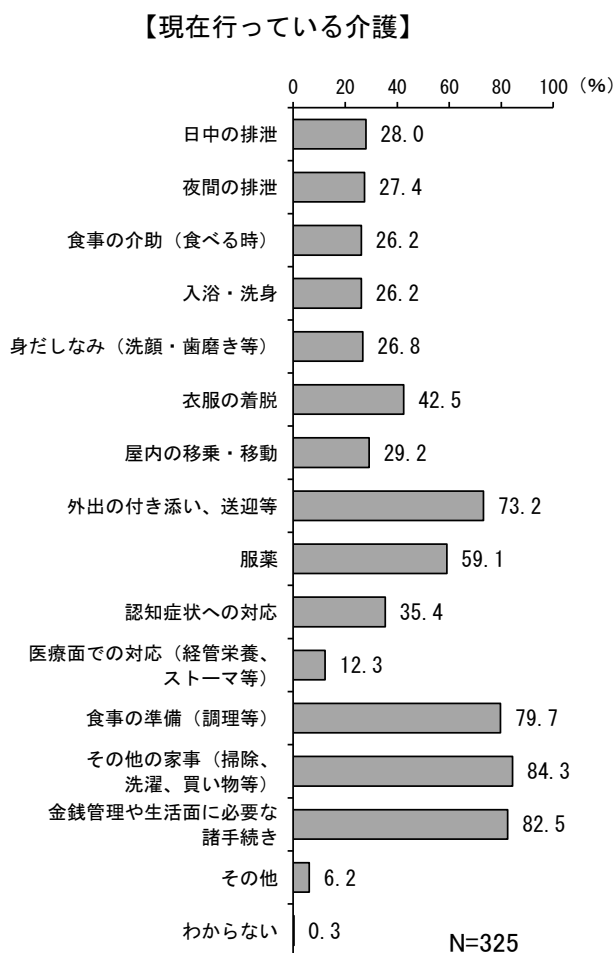
問3 (3) 主な介護者の年齢

	件数	30歳未満	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
今回調査 (R1)	324	-	1.2	6.2	23.1	29.0	24.4	16.0
前回調査 (H29)	312	0.3	0.6	7.1	24.7	38.1	17.6	11.5

3-4 現在行っている介護

問3(4) 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(〇はいくつでも)

- 主な介護者が行っている介護は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」(84.3%)が最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(82.5%)、「食事の準備（調理等）」(79.7%)が高く、[生活援助]の項目が高くなっています。[身体介護]の項目では、「外出の付き添い、送迎等」(73.2%)が最も高く、次いで「服薬」(59.1%)、「衣服の着脱」(42.5%)、「認知症状への対応」(35.4%)が3割以上で高くなっています。



- 世帯類型別でみると、「入浴・洗身」「衣服の着脱」は夫婦のみ世帯で高くなっています。
- 要介護度別でみると、多くの介護が要介護3以上で高くなっています。
- 前回調査と比べると、[身体介護]の項目では、「服薬」が10.6ポイント、「認知症状への対応」が9.8ポイント、「衣服の着脱」が9.4ポイント、「夜間の排泄」が8.7ポイント、「日中の排泄」が5.4ポイントそれぞれ増加しています。

問3(4) 主な介護者が現在行っている介護等

		件数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎	服薬	認知症状への対応	栄養、ストーマ等	医療面での対応(経管)	食事の準備(調理等)	洗濯、買い物等(掃除、その他)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない
全体		325 100.0	91 28.0	89 27.4	85 26.2	85 26.2	87 26.8	138 42.5	95 29.2	238 73.2	192 59.1	115 35.4	40 12.3	259 79.7	274 84.3	268 82.5	20 6.2	1 0.3	
世帯類型別	単身世帯	63 100.0	3 4.8	3 4.8	10 15.9	7 11.1	4 6.3	5 7.9	6 9.5	39 61.9	20 31.7	13 20.6	4 6.3	35 55.6	43 68.3	45 71.4	4 6.3	1 1.6	
	夫婦のみ世帯	79 100.0	26 32.9	27 34.2	25 31.6	37 46.8	26 32.9	45 57.0	26 32.9	62 78.5	50 63.3	25 31.6	12 15.2	70 88.6	72 91.1	70 88.6	5 6.3	-	
	その他	179 100.0	59 33.0	58 32.4	48 26.8	39 21.8	54 30.2	85 47.5	60 33.5	134 74.9	119 66.5	75 41.9	24 13.4	152 84.9	156 87.2	151 84.4	11 6.1	-	
要介護度別	要介護1	108 100.0	15 13.9	13 12.0	13 12.0	22 20.4	16 14.8	29 26.9	13 12.0	80 74.1	63 58.3	48 44.4	10 9.3	88 81.5	94 87.0	89 82.4	6 5.6	-	
	要介護2	126 100.0	25 19.8	24 19.0	26 20.6	26 20.6	26 20.6	42 33.3	35 27.8	97 77.0	70 55.6	39 31.0	11 8.7	98 77.8	105 83.3	105 83.3	7 5.6	-	
	要介護3	50 100.0	26 52.0	25 50.0	24 48.0	25 50.0	25 50.0	38 76.0	23 46.0	34 68.0	30 60.0	19 38.0	9 18.0	40 80.0	41 82.0	41 82.0	6 12.0	1 2.0	
	要介護4	26 100.0	17 65.4	19 73.1	14 53.8	8 30.8	12 46.2	17 65.4	16 61.5	17 65.4	18 69.2	5 19.2	4 15.4	23 88.5	23 88.5	19 73.1	-	-	
	要介護5	15 100.0	8 53.3	8 53.3	8 53.3	4 26.7	8 53.3	12 80.0	8 53.3	10 66.7	11 73.3	4 26.7	6 40.0	10 66.7	11 73.3	14 93.3	1 6.7	-	

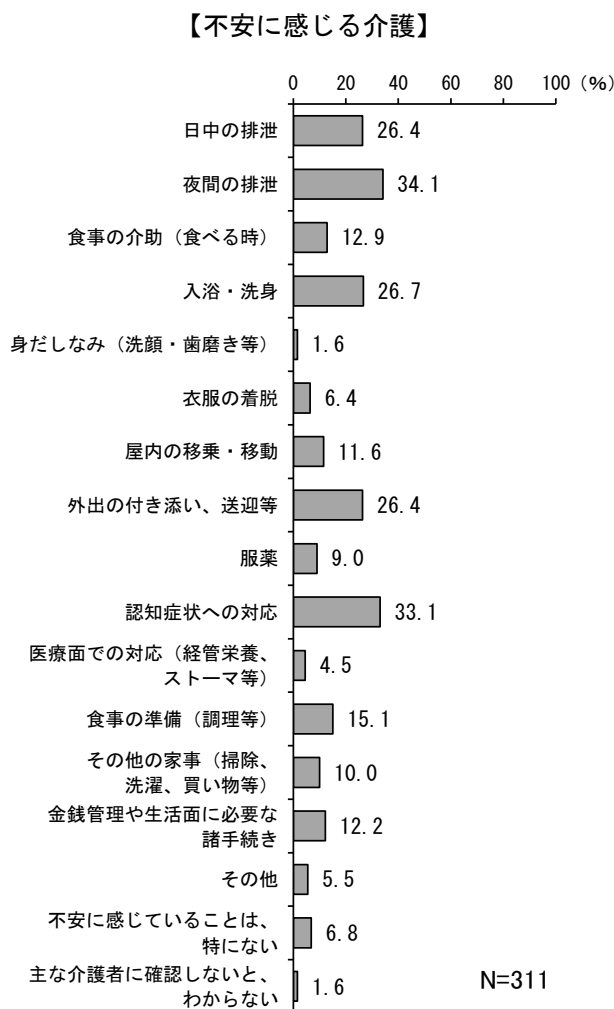
問3(4) 主な介護者が現在行っている介護等

		件数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎	服薬	認知症状への対応	栄養、ストーマ等	医療面での対応(経管)	食事の準備(調理等)	洗濯、買い物等(掃除、その他)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない
今回調査 (R1)		325	28.0	27.4	26.2	26.2	26.8	42.5	29.2	73.2	59.1	35.4	12.3	79.7	84.3	82.5	6.2	0.3	
前回調査 (H29)		305	22.6	18.7	22.0	21.3	25.9	33.1	25.9	72.1	48.5	25.6	10.2	68.2	76.7	74.1	4.3	-	

3-5 不安を感じる介護

問3(5) 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（○は3つまで）

- 在宅生活の継続にあたり主な介護者が不安を感じる介護は、「夜間の排泄」が34.1%で最も高く、次いで「認知症状への対応」（33.1%）、「入浴・洗身」（26.7%）、「日中の排泄」「外出の付き添い、送迎等」（ともに26.4%）が高くなっています。



- 世帯類型別でみると、「食事の準備（調理等）」は単身世帯（23.7%）でやや高く、「日中の排泄」「夜間の排泄」は単身世帯で低くなっています。
- 介護保険サービスの利用状況別でみると、「入浴・洗身」は利用していない人（40.5%）で高くなっています。
- 要介護度別でみると、「日中の排泄」は要介護3（45.8%）で、「夜間の排泄」は要介護3・4で、「認知症状への対応」は要介護1（49.0%）でそれぞれ高くなっています。
- 前回調査と比べると、[身体介護]の項目では、「日中の排泄」が11.3ポイント、「食事の介助（食べる時）」が7.4ポイント、「夜間の排泄」が7.0ポイント、「入浴・洗身」と「認知症状への対応」が4.7ポイント、それぞれ増加しています。

問3（5） 主な介護者が不安に感じる介護等

	件数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎	服薬	認知症状への対応	栄養・ストーマ等	食事の準備（調理等）	洗濯、買い物等	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な手続き	その他	不安に感じていること、特にない	主な介護者に確認しないとわからない
全体	311 100.0	82 26.4	106 34.1	40 12.9	83 26.7	5 1.6	20 6.4	36 11.6	82 26.4	28 9.0	103 33.1	14 4.5	47 15.1	31 10.0	38 12.2	17 5.5	21 6.8	5 1.6	
世帯類型別	単身世帯	59 100.0	7 11.9	10 16.9	5 8.5	16 27.1	1 1.7	7 11.9	16 27.1	7 11.9	22 37.3	5 8.5	14 23.7	7 11.9	6 10.2	4 6.8	5 8.5	1 1.7	
	夫婦のみ世帯	74 100.0	16 21.6	23 31.1	9 12.2	23 31.1	2 2.7	11 14.9	7 9.5	24 32.4	10 13.5	19 25.7	1 1.4	12 16.2	12 16.2	5 6.8	4 5.4	1 1.4	
	その他	174 100.0	57 32.8	72 41.4	25 14.4	44 25.3	2 1.1	8 4.6	22 12.6	41 23.6	11 6.3	60 34.5	7 4.0	21 12.1	12 6.9	20 11.5	8 4.6	12 6.9	2 1.1
利用別	利用している	262 100.0	67 25.6	87 33.2	33 12.6	64 24.4	5 1.9	15 5.7	30 11.5	70 26.7	24 9.2	87 33.2	14 5.3	39 14.9	27 10.3	33 12.6	16 6.1	18 6.9	4 1.5
	利用していない	42 100.0	12 28.6	15 35.7	6 14.3	17 40.5	-	5 11.9	4 9.5	9 21.4	4 9.5	14 33.3	-	6 14.3	4 9.5	5 11.9	1 2.4	3 7.1	1 2.4
要介護度別	要介護1	104 100.0	24 23.1	35 33.7	10 9.6	33 31.7	2 1.9	5 4.8	6 5.8	30 28.8	15 14.4	51 49.0	5 4.8	15 14.4	11 10.6	13 12.5	5 4.8	3 2.9	1 1.0
	要介護2	119 100.0	27 22.7	31 26.1	16 13.4	35 29.4	3 2.5	8 6.7	18 15.1	31 26.1	9 7.6	28 23.5	5 4.2	26 21.8	18 15.1	16 13.4	6 4.2	2 7.6	2 1.7
	要介護3	48 100.0	22 45.8	24 50.0	6 12.5	12 25.0	-	3 6.3	5 10.4	11 22.9	2 4.2	12 25.0	2 4.2	2 4.2	-	6 12.5	3 6.3	5 10.4	1 2.1
	要介護4	25 100.0	7 28.0	13 52.0	5 20.0	3 12.0	-	3 12.0	5 20.0	6 24.0	1 4.0	6 24.0	-	2 8.0	2 8.0	1 4.0	1 8.0	2 12.0	3 4.0
	要介護5	15 100.0	2 13.3	3 20.0	3 20.0	-	-	1 6.7	2 13.3	4 26.7	1 6.7	6 40.0	2 13.3	2 13.3	-	2 13.3	2 13.3	1 6.7	-

問3（5） 主な介護者が不安に感じる介護等

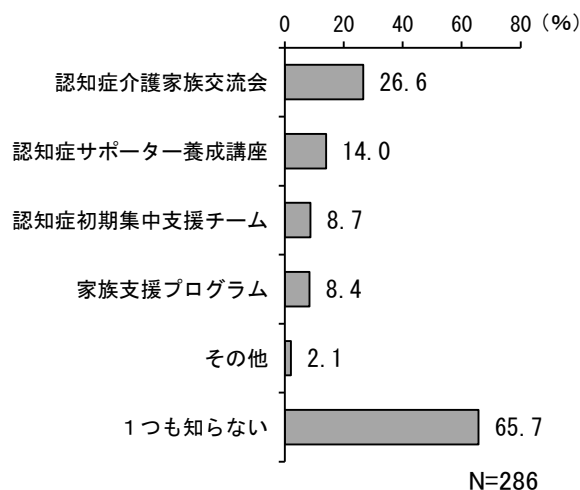
	件数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎	服薬	認知症状への対応	栄養・ストーマ等	食事の準備（調理等）	洗濯、買い物等	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な手続き	その他	不安に感じていること、特にない	主な介護者に確認しないとわからない
今回調査（R1）	311	26.4	34.1	12.9	26.7	1.6	6.4	11.6	26.4	9.0	33.1	4.5	15.1	10.0	12.2	5.5	6.8	1.6	
前回調査（H29）	218	15.1	27.1	5.5	22.0	2.3	2.3	8.3	24.3	5.0	28.4	3.7	15.6	15.6	14.7	5.0	8.7	3.7	

3-6 津島市の認知症施策の知名度

問3(6) 津島市では認知症施策として以下のような事業を行っていますが、知っていますか。(〇はいくつでも)

- 津島市の認知症施策で知っている事業は、「1つも知らない」が65.7%で最も高く、具体的な項目では、「認知症介護家族交流会」(26.6%)、「認知症サポーター養成講座」(14.0%)の順で高くなっています。
- 世帯類型別でみると、「1つも知らない」は単身世帯(72.2%)で高くなっています。
- 要介護度別でみると、「認知症初期集中支援チーム」は要介護4(26.3%)で、「1つも知らない」は要介護3(81.4%)でそれぞれ高くなっています。

【知っている市の認知症施策】



問3(6) 市が行っている認知症施策の知名度

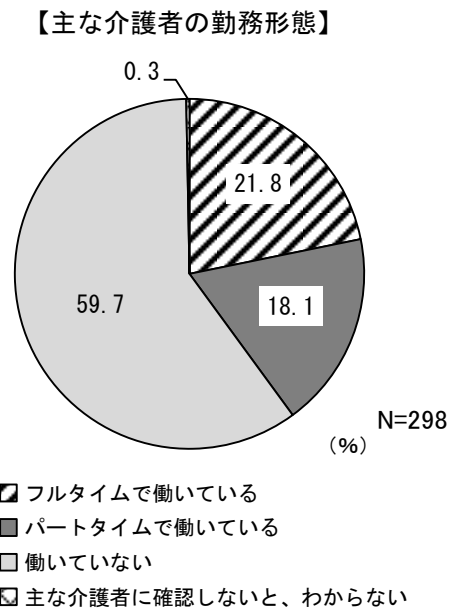
		件数	交流会 認知症 介護家族	認知症 サポーター 養成講座	認知症 初期集中 支援チーム	家族 支援 プログラム	その他	1つも 知らない
全体		286	76	40	25	24	6	188
		100.0	26.6	14.0	8.7	8.4	2.1	65.7
世帯 類型別	単身世帯	54	13	4	4	3	1	39
		100.0	24.1	7.4	7.4	5.6	1.9	72.2
	夫婦のみ世帯	66	18	11	6	6	3	42
	100.0	27.3	16.7	9.1	9.1	4.5	63.6	
	その他	163	44	25	15	15	2	105
		100.0	27.0	15.3	9.2	9.2	1.2	64.4
要 介護 度別	要介護1	98	34	16	7	6	2	57
		100.0	34.7	16.3	7.1	6.1	2.0	58.2
	要介護2	111	26	15	10	11	4	73
		100.0	23.4	13.5	9.0	9.9	3.6	65.8
	要介護3	43	7	3	1	2	-	35
	100.0	16.3	7.0	2.3	4.7	-	81.4	
	要介護4	19	5	3	5	2	-	13
		100.0	26.3	15.8	26.3	10.5	-	68.4
	要介護5	15	4	3	2	3	-	10
		100.0	26.7	20.0	13.3	20.0	-	66.7

4 主な介護者の方の就労について《介護者への質問》

4-1 主な介護者の勤務形態

問4(1) 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○は1つ)

- 主な介護者の勤務形態は、「フルタイムで働いている」が21.8%、「パートタイムで働いている」が18.1%で、『働いている』は合計39.9%となっています。一方、「働いていない」は59.7%となっています。
- 世帯類型別でみると、『働いている』は単身世帯(60.7%)で高く、夫婦のみ世帯(18.6%)で低くなっています。



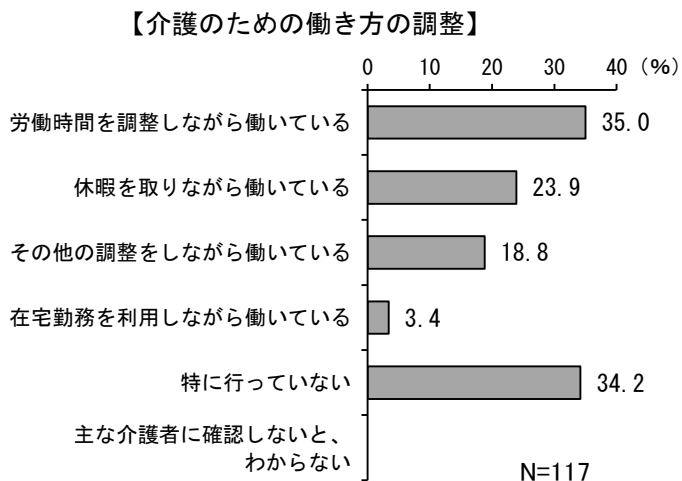
問4(1) 主な介護者の勤務形態

		件数	フルタイムで働いている (%)	パートタイムで働いている (%)	働いていない (%)	主な介護者に確認しないと、わからない (%)
全体		298	21.8	18.1	59.7	0.3
世帯類型別	単身世帯	56	35.7	25.0	39.3	-
	夫婦のみ世帯	70	8.6	10.0	81.4	-
	その他	169	23.1	19.5	57.4	-

4-2 介護のための働き方の調整

(問4(1)で「1 フルタイムで働いている」または「2 パートタイムで働いている」を選んだ方に)
 問4(1)-① 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。(〇はいくつでも)

- 主な介護者が介護のために何か働き方についての調整をしているかどうかたずねたところ、「労働時間を調整しながら働いている」が35.0%で最も高く、具体的な項目では次いで「休暇を取りながら働いている」が23.9%、「その他の調整をしながら働いている」が18.8%となっています。また、「特に行っていない」は34.2%となっています。
- 要介護度別でみると、「労働時間を調整しながら働いている」「休暇を取りながら働いている」「それ以外の調整をしながら働いている」はいずれも要介護3で高くなっています。
- 前回調査と比べると、「特に行っていない」が16.6ポイント減少し、「労働時間を調整しながら働いている」が15.3ポイント、「休暇を取りながら働いている」が8.7ポイント、それぞれ増加しています。



問4(1)-① 主な介護者が行っている働き方の調整

	件数	労働時間を調整しながら	等(休日)をとりながら働いている	休暇(年休や介護休暇)を取りながら働いている	それ以外の調整をしながら	在宅勤務を利用しながら	特に行っていない	主な介護者に確認しない
全体	117	41	28	22	4	40	-	
	100.0	35.0	23.9	18.8	3.4	34.2	-	
要介護度別	要介護1	53	21	8	12	1	19	
		100.0	39.6	15.1	22.6	1.9	35.8	
	要介護2	42	13	12	5	3	14	
		100.0	31.0	28.6	11.9	7.1	33.3	
	要介護3	12	5	5	3	-	3	
	100.0	41.7	41.7	25.0	-	25.0		
要介護4	5	1	-	1	-	3		
	100.0	20.0	-	20.0	-	60.0		
要介護5	5	1	3	1	-	1		
	100.0	20.0	60.0	20.0	-	20.0		

問4(1)-① 主な介護者が行っている働き方の調整

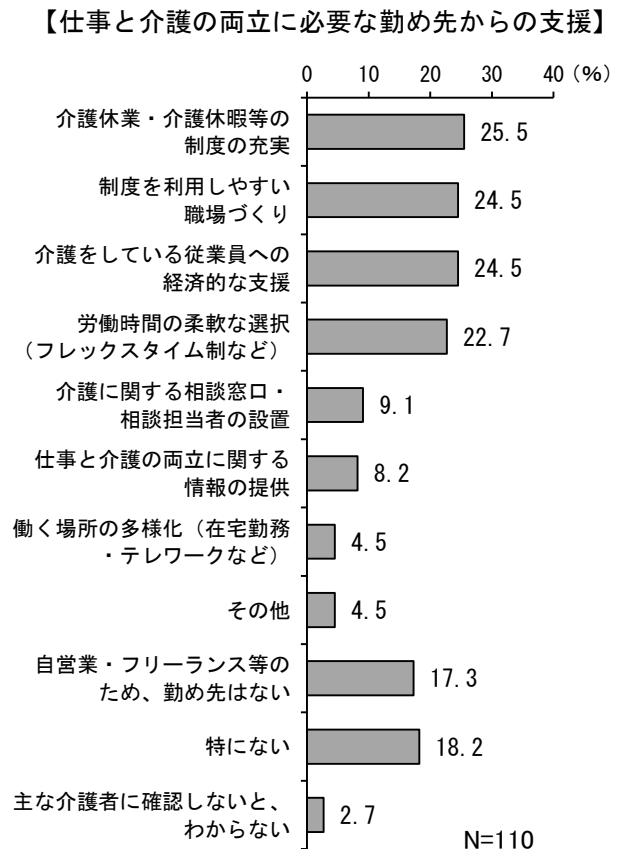
	件数	労働時間を調整しながら	等(休日)をとりながら働いている	休暇(年休や介護休暇)を取りながら働いている	それ以外の調整をしながら	在宅勤務を利用しながら	特に行っていない	主な介護者に確認しない
今回調査 (R1)	117	35.0	23.9	18.8	3.4	34.2	-	
前回調査 (H29)	132	19.7	15.2	15.9	0.8	50.8	2.3	

4-3 仕事と介護の両立に必要な勤め先からの支援

(問4(1)で「1 フルタイムで働いている」または「2 パートタイムで働いている」を選んだ方に)

問4(1)-② 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(〇は3つまで)

● 主な介護者の仕事と介護の両立に必要な勤め先からの支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が25.5%で最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」「介護をしている従業員への経済的な支援」(ともに24.5%)、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」(22.7%)が高くなっています。また、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」は17.3%、「特にない」は18.2%となっています。



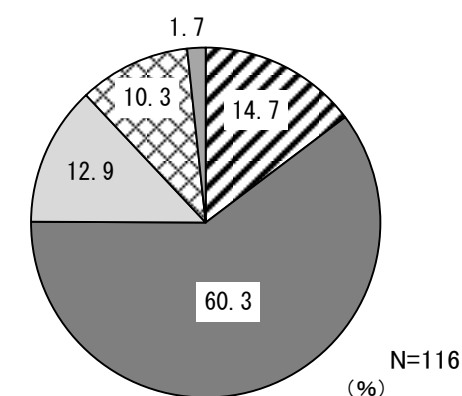
4-4 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

(問4(1)で「1 フルタイムで働いている」または「2 パートタイムで働いている」を選んだ方に)

問4(1)-③ 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○は1つ)

● 主な介護者の就労継続の可否に係る意識は、「問題はあるが、何とか続けていける」が60.3%で最も高く、「問題なく、続けていける」(14.7%)と合わせた『続けていける』は75.0%となっています。一方、『続けていくのは難しい』(「続けていくのは、かなり難しい」「続けていくのは、やや難しい」の計)は23.2%となっています。

【主な介護者の就労継続の可否に係る意識】



- 問題なく、続けていける
- 問題はあるが、何とか続けていける
- 続けていくのは、やや難しい
- ▣ 続けていくのは、かなり難しい
- 主な介護者に確認しないと、わからない

- 介護保険サービスの利用状況別でみると、『続けていける』は利用していない人(84.6%)で高くなっています。
- 要介護度別でみると、『続けていける』は要介護2(83.7%)で高くなっています。
- 前回調査と比べると、『続けていくのは難しい』は15.8%から7.4ポイント増加しています。

問4(1)-③ 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

		件数	い問題なく、続けて	と問題はあてが、ける何	や続はていくのは、	か続はていくのは、	ない、と、わか確認
全体		116 100.0	17 14.7	70 60.3	15 12.9	12 10.3	2 1.7
世帯類型別	単身世帯	34 100.0	5 14.7	20 58.8	4 11.8	5 14.7	- -
	夫婦のみ世帯	12 100.0	1 8.3	8 66.7	2 16.7	- -	1 8.3
	その他	70 100.0	11 15.7	42 60.0	9 12.9	7 10.0	1 1.4
利用別	利用している	99 100.0	16 16.2	57 57.6	14 14.1	11 11.1	1 1.0
	利用していない	13 100.0	1 7.7	10 76.9	- -	1 7.7	1 7.7
要介護度別	要介護1	51 100.0	6 11.8	33 64.7	5 9.8	6 11.8	1 2.0
	要介護2	43 100.0	8 18.6	28 65.1	5 11.6	1 2.3	1 2.3
	要介護3	12 100.0	2 16.7	6 50.0	4 33.3	- -	- -
	要介護4	5 100.0	1 20.0	- -	1 20.0	3 60.0	- -
	要介護5	5 100.0	- -	3 60.0	- -	2 40.0	- -
主な介護者別	配偶者	14 100.0	- -	10 71.4	2 14.3	2 14.3	- -
	子	71 100.0	13 18.3	40 56.3	8 11.3	8 11.3	2 2.8
	子の配偶者	22 100.0	4 18.2	13 59.1	4 18.2	1 4.5	- -
	孫	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	兄弟・姉妹	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	その他	3 100.0	- -	2 66.7	1 33.3	- -	- -

問4(1)-③ 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

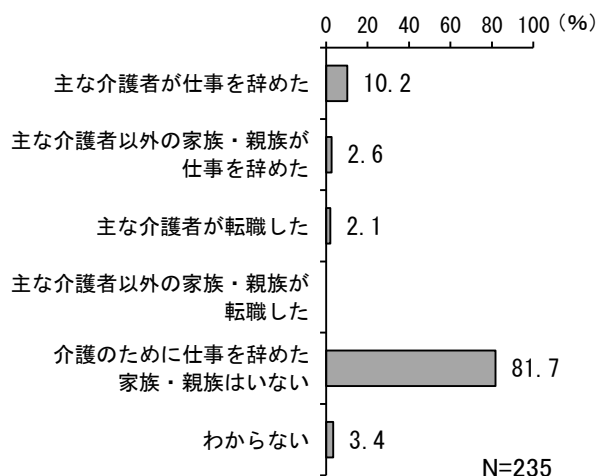
		件数	い問題なく、続けて	と問題はあてが、ける何	や続はていくのは、	か続はていくのは、	ない、と、わか確認
今回調査(R1)		116	14.7	60.3	12.9	10.3	1.7
前回調査(H29)		133	18.0	62.4	10.5	5.3	3.8

4-5 介護を理由とした家族等の離職の有無

問4(2) ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（○はいくつでも）

- 過去1年間の介護離職の状況については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が81.7%で最も高く、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」は10.2%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた」は2.6%、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」は2.1%、「主な介護者が転職した」は2.6%となっています。

【過去1年間の介護離職の状況】



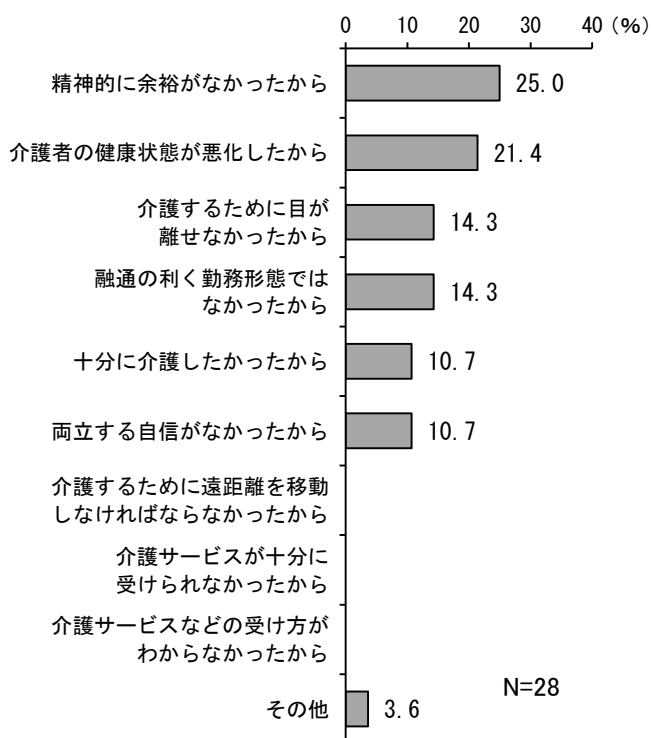
4-6 離職・転職の最大の理由

（問4(2)で「1」「2」「3」「4」を選んだ方に）

問4(2)-① 仕事を辞めたり、転職したりしなければならなかった最も大きな理由は何ですか。（○は1つ）

- 離職・転職の最大の理由は、「精神的に余裕がなかったから」が25.0%で最も高く、次いで、「介護者の健康状態が悪化したから」（21.4%）、「介護するために目が離せなかったから」「融通の利く勤務形態ではなかったから」（ともに14.3%）が高くなっています。

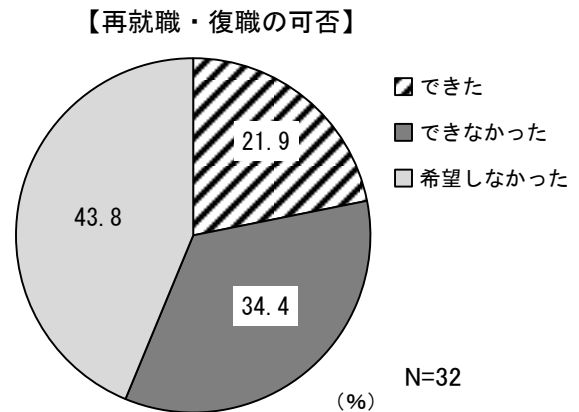
【離職・転職の最大の理由】



4-7 再就職・復職の可否

(問4(2)で「1」「2」「3」「4」を選んだ方に)
 問4(2)-② 再就職したり、復職したりすることはできましたか。(〇は1つ)

- 離職・転職した人が再就職・復職することができたかどうかについては、「できた」が21.9%、「できなかった」が34.4%、「希望しなかった」が43.8%となっています。
- 前回調査と比べると、「希望しなかった」が7.8ポイント増加しています。



問4(2)-② 再就職や復職の実施状況

	件数	できた	できなかった	希望しなかった
今回調査 (R1)	32	21.9	34.4	43.8
前回調査 (H29)	25	24.0	40.0	36.0

4-8 介護・高齢者福祉に対する意見・要望

問4(3) その他、主な介護者の方からの介護・高齢者福祉に対するご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

- 介護・高齢者福祉に対して、主な介護者から下記のような意見・要望を110件いただきました。

No.	内容	件数
1	サービスの充実について	14
2	施設入所について	13
3	経済的支援について	11
4	在宅サービスの利用について	11
5	不安(介護者の健康状態、災害時等)について	9
6	介護者支援について	8
7	情報の提供について	8
8	介護者の就労について	7
9	認知症について	6
10	外出時の支援について	4
11	相談について	2
12	手続きの簡易化について	2
13	本人のサービス利用拒否について	2
14	アンケートについて	9
15	その他	4

1 サービスの充実について

- ・前回利用していたショートステイは、排便の洗濯もひどく、家で捨てていた。消火器の期限も切れていた。福祉の検査をしてほしい。
- ・風呂、体操、食事など決まった時間以外はただ椅子に座り、次に行く事業まで黙って座っている。その合間にカラオケを歌ったりすることはだめと言われる。その間どうしたら良いかわからないので、良い方法があったら教えてほしい。
- ・もっと安心して仕事と介護ができるようサービスの改善、病院の増院、バス等（市巡回バス、毎日来ないし1時間に1本もない、使えないエリアに差がある）交通利用の増車、24時間医療対応の検討をお願いしたい。
- ・必要な時に必要とする介護が受けられるようにしてほしい。予約が要るようなサービスでは間に合わないことがある。介護認定によるサービスも、負担金額やサービス内容が充実していないように感じる。介護される方も介護する方も安心できることを希望している。
- ・高齢者二人暮らしの老々介護には、細かいことで日々困ることが多い。ケアマネジャーが色々気遣ってくれるが、近くに親族がいないので、時間に関係なくちょっとしたことでも助けてくれる人がいればありがたい。
- ・諸手続きの市役所窓口の時間延長。
- ・高齢者の流れ、利用、ニーズは増加し多様化すると思うので、バランスの取れた人口構成（働く人口の底上げ）や介護サービスの提供をお願いしたい。
- ・おむつ、手袋、とろみが経済的に大変なのでエントリーしてほしい（お尻拭き、口腔ケア用品等）。
- ・配偶者が80歳以上の高齢者なので、リハビリパンツ等を支給してほしい。今は歩けないので、デイサービス等に夫婦でリハビリに行っている。
- ・骨折で足が悪く車に乗らないので、どこの人でも良いからつけてほしい。
- ・特に夜間の介護について、急用ができた時。現状では不安。
- ・用事がある時にショートステイや宿泊サービスが受けられるようにしてほしい。一人で家には置いていけない。
- ・在宅介護をしている者としては、自分も80歳を超えたのでもっとショートステイが使用しやすくしてもらいたい。全般に部屋が少ないのか、空きがない時が多い。
- ・理解しやすいシステムをお願いしたい。

2 施設入所について

- ・施設に入所しているので、なんとかやっている。
- ・安価で入所できる老人ホームを作してほしい。
- ・デイサービス、福祉用具の使用等、助かっていることも多々ある。先のことで、もっと高くない施設の利用とか、施設もたくさんあると助かる。認知症も人によって色々な症状があり、経験した者でないとわからないこともある。
- ・介護しながら働くことはとても困難。発熱しやすく、すぐに病院へ行かなければならないが、耳が遠いため通院に同席が必要になる。現在、両親が通院中で、認知になった場合入所を希望したいが、お金がかかるためとても大変だろうと思う。

- ・できるだけ在宅介護を続ける努力はするが、施設入所も視野に入れて、本人の状況と介護家族の状況をみて考えたいと思っている。
- ・介護には限度があるため、施設を充実し、長期間でも入っていただけるようにしてほしい。
- ・介護する子供が県外に住んでいるため、施設に入所。在宅の場合は何かあった時に1時間位で来てくれるが、家族が居ない時は難しいと思う。
- ・必要になったら、特別養護老人ホームへスムーズに入所したい。
- ・特養・老健など施設に入りやすく（待機の期間を短く）してほしい。デイサービスやショートステイに通ったことがない人は後回しと言われた。
- ・要介護2でも国民年金の範囲で入れる施設がほしい。
- ・施設や長期入院できる場所をもっと増やして、必要な時にすぐに入れるようになってほしい。費用も安くなるようにしてほしい。
- ・施設への入所が待機なくできて、費用も安くなるといい。
- ・介護者が歩行困難な状態になった時、入所を選択し、有料老人ホームに入所した。今は介護のすべてをホームの方にしてもらっている。介護者の金銭的負担が厳しいので補助があればと思う。

3 経済的支援について

- ・介護保険料が高くなって年金生活が苦しくなり、利用したくても何かにつけてお金がかかると思っ
て控えている。眼科・歯科など、本人がすぐにお金があるだろうと言う。
- ・経済的援助を望む。
- ・体調が現状維持であればありがたいと思っている。介護福祉の金額が少しでも下がればありがたい
（3割負担）。
- ・障害3級で医療費が無料でとてもありがたく思っている。
- ・今リハビリに行っているが、介護料金がもう少し安かったら助かる。
- ・本人がお金がないことを心配している。年金だけでは足りない。
- ・金銭的に問題あり。
- ・下着やオムツが多く必要で金額が多くなっているので、補助がほしい。
- ・介護する側は生活のため働く必要があり、本人の看病や、孫の面倒もみないといけない。高齢者介
護のサービスを受けようとするとも費用負担が増え複数のサービスを利用できないので、すべての料
金が高齢者の年金受給額に応じた利用料になることを希望する。
- ・施設へ入所（入居）する際の費用が施設により差があると思う（有料老人ホーム以外）。高齢化社
会に向けての補助金・助成金を今、本当に困っている人のために各方面の情報や費用面でのサポー
トにしっかり取り組んでほしい。お金に余裕がない人が入れないのはどうなのか。
- ・大切な親であり、介護が大変と思ったことはない。今後、介護保険サービス等を受けた場合、利用
料はなしにしてほしい。

4 在宅サービスの利用について

- ・デイサービス、ホームヘルパーの支援で助かっている。
- ・80過ぎで今の制度がよくわからないが、ケアマネ、デイサービスでなんとか頑張っている。
- ・ケアマネジャーが良く調べ、考えてくれるので安心している。料金が下がれば言うことはない。

- ・往診、訪問看護、訪問入浴、ショートステイ、デイサービス、介護用品リースと、十分助けられている。
- ・現在世話になっている施設の職員達に深く感謝している。生活全般、衣服の着脱、食事の介護、排せつの世話等、すべてにわたって介護してもらっている。身体、医療面については異常を発見された時には関係医師の診断を受けることができるので安心している。職員の応対は言葉遣いも丁寧で親切心にあふれ、他の施設に比べて特段に素晴らしい成果を上げていると思う。
- ・自宅介護の末に父を亡くしたが、その頃から介護サービスを利用し、色々自分なりに勉強もした。夫を亡くして塞ぎ込んでいた母のデイサービス選びには苦労したが、ケアマネジャーが親身になって色々あたってくれ、今ではほとんど毎日通っており、良いケアマネは大切だと実感している。
- ・家族が送迎しなければいけないが、朝や帰りの時間に間に合わなく、ヘルパーをお願いしている。
- ・杖を利用しての移動、食事やトイレ、入浴等を家族総力で行っている。また、寝たきり状態にならないように、リハビリデイサービスで運動している。気を配っているつもりではあるが、寝たきり状態になったら公的サービスの支援を受け助けてもらうことを考えている。
- ・父は病院へ治療入院、母は一人暮らしで要介護1。関東から新幹線と車で月1回ほど通っている。母はデイサービスが週2から週1になり、楽しみが減って最近元気がない。出費もかさみ、今後のことが心配。
- ・現在デイサービスに週2回行き、その日に自分の医者・用事にあてている。あとは、一人にしないようにどこにも連れて用事を少しだけ入れ、本人の用事・医者等にあてたり、外の空気を見せ認知を遅らせるよう努力している。介護ホームに入所させる資金がないため、家でめんどろをみるように努力している。病気が大変にひどくなくても、できるだけ家で見守りたい。以前、入院したが、認知が出ており、介護するのが大変だった。
- ・現在家族を介護しており、市の支援事業に支えてもらって助かっているが、本人の感情の不安定さが負担となっている。本人は他人と話して帰宅すると穏やかなので、通所のない日に地域で集いがあるととても助かる。

5 不安（介護者の健康状態、災害時等）について

- ・老々介護で先のことを考えると不安である。
- ・今は介護者も頑張っているが、いつ倒れるかわからず、毎日心配。特にお金の面で。
- ・現実には老々介護をしているが、いずれ最後に残った者が一番大変なのではないかと、それが一番心配。
- ・介護者である自分が高齢になっているので、これから先いつまで車に乗れるかとか、母も何とか手助けすれば自分のことは自分でできているが、この先はできなくなる時が来るので、非常に心配している。
- ・今の所自分が健康だから良いが、病気でもなると不安である。配偶者が車椅子で、自分も車に乗れないため、台風時の移動などに不安だが、二人で頑張りたい。
- ・今は介護者が健康なのでできるが、年々弱くなっていくので心配。タクシー代が高いので困る。
- ・80歳でいつまで続けられるか。
- ・老々介護の時代、介護者でありながら、いつ要介護者になるか、このようなことを心配しながら暮らしている心細い毎日である。

- ・不在時（パート勤務時）での地震・自然災害に遭遇した場合でのことが不安である。

6 介護者支援について

- ・デイサービスを月に毎日使用すると、1～2回実費になってしまう。介護3にあがるポイントが自立できるか否かというところで本人が微妙すぎて上がれないため、家族の負担が多くなっている。いずれ施設へと考えているが、金銭面で前に進めない。子どもが小さくて大変だが子育てよりも介護に手がかかり、精神的に苦労している。何ともならない。
- ・以前サ高住に入っていたが、家は施設の外のケアマネだったので随分助けられた。家族を助けてくれるケアマネを養成してほしい。介護家族が愚痴を聞いてもらえたり、気軽に相談できる場があるといい。
- ・現在デイサービスを利用しているが、本人だけでなく介護者にとっても気持ちにゆとりができ、大変ありがたく思っている。
- ・トイレを自分で行えることが大事。本人が何度もトイレに通うため、介護者がトイレに行けない。ゆっくりトイレに入れないため、便通が狂う。市町村として国として、意見ばかりを聞くのではなく、何とか手当を講じてほしい。なぜ何もしないのか、非常に残念で腹立たしい。
- ・老々介護の時代になり、介護する側が特に負担がかかりストレスが溜まり、今後の介護が不安になることがある。
- ・老々介護の場合のサポートを充実してほしい。夫婦のみの世帯なので、本人が一人で生活しなければならなくなった時の介護がとても心配である。
- ・老々介護で、娘が働きながら一人で親をみる。収入でオムツ等の援助を受けようとしても却下されたり、すべてにおいて負担・親の年金も少なく、金の面で不安が大きい。休みが休みにならない自宅介護。介護者には厳しく、つらい。
- ・個々の介護者によって本当に要望が違うが、今、ケアマネにすべて話ができて、精神的に助かっている。

7 情報の提供について

- ・要介護2の認定を受けて1年になるが、知らないことのほうが多く、今現在利用していることもケアマネジャーから教えてもらいながらで、自分自身も情報を得ないといけないうが、受けられるサービスやパンフレット等がもらえるとありがたいと思う。
- ・出張床屋の情報を広報などに記載してほしい。フルタイムで働いていると、ケアマネに聞く時間もなくて困っている。また、出張床屋の利用時の補助金等があれば利用しやすい。
- ・緊急時の救助体制が良くわからない。自身が90歳以上の高齢のため、助けが必要と思う。救助についてどのようにするのか、されるのかを知りたい。
- ・本人がヘルパーや訪問を嫌がり、現在3人を介護している。どんなサービスがあるのかなど、細かいパンフレットとかあると本人にも説明できるし、自分にもわかるのでうれしい。3人抱えていると役所に行ったりすることができないので。
- ・訪問が難しいので、簡単にしてほしい。介護、福祉、気軽に相談できる窓口等の情報がほしい。医師等からの説明や資料提出のことなどが、市の広報だけではわからない。
- ・介護施設のリストはもらえるが、施設にかかる費用の表示がなく、施設を決めにくい。

- ・保険証等は申請しているので介護者（現記入者）に届くが、このアンケートやプレミアム商品券の案内等は自宅に届いてしまう。同一市役所の配布物だけでも情報の共有ができておらず、無駄である。ぼけた老人に送っても有効な回答はない。是非にも他部署間の情報共有をお願いしたい。津島市は良くやっていると思う。
- ・本人は在宅介護を希望するが、介護者との意思疎通の隔たりがあり困難なため、適時施設の情報提供を切にお願いしたい。

8 介護者の就労について

- ・介護をすることによって勤務時間の短縮をした。同居家族が居ることによってヘルパーが利用できないこと（朝の着替え、デイサービスに行くための玄関までの移動など）の改善を希望する。
- ・介護生活に入る3年前にパートを辞めた。
- ・自宅でも寝たきりの配偶者と高齢の義母を介護しているので、自分がいつ倒れるか心配。そんな自分を見て娘も仕事を辞めてしまった。現状を知らない人に「看てあげて」と言われると泣けてくる。
- ・父を自宅で看取った直後から母も認知症が進み、経済的に施設等の利用は念頭にないため、父が患う前まで勤めていたが、現在は無収入なので将来の不安を感じている。
- ・健康状態が戻らず再就職に苦労しているが、体調を整えフルタイムはだめでもパートタイムなど将来的には復職し、介護と両立したいと思う。今後とも介護支援をよろしくお願いしたい。
- ・介護休暇が年に5回しか取れないので、せめて1か月に1回は取れるようにしてもらいたい。
- ・介護を理由として仕事を辞めることは現実的ではない。時が来たら施設等への入所しか選択肢はないと考える。在宅医療へのハードルはかなり高い。

9 認知症について

- ・認知症が年齢を増すごとに少しずつ進んでおり、この先がやはり不安になる。毎日つい言いすぎたりもして後で落ち込むこともしばしばある。何回同じことを言って聞かせても、次の日には忘れていく。喧嘩も多くなった。面倒を見るほうも余裕が無くなる。本人も毎日がつまらないと言う。デイには週3回行っているが、もっと身近に友達でもできれば良いのと思う。
- ・家族支援プログラムの講座を受けたいと思う。
- ・先日新聞で、認知症事故による賠償について、個人賠償責任保険による補償を導入している自治体が増えている旨の記事を読んだ。在宅介護に関わらず、認知症介護において本人・家族・周りの方に対してこういう制度があると安心できると思った。
- ・認知症や体力運動能力低下の前の、楽しく取り組める運動十項の体操が、予備軍に必要だと思う。
- ・今のところ現状で満足しているが、認知症が進行して今より大変なことが増えたら、いろいろとサービスを受けたいと思う。
- ・介護におけるサービスの種類と内容や認知症介護者への支援サービス等の説明を受けたい。

10 外出時の支援について

- ・高齢のため、外出先の交通手段に困る。
- ・病院の送迎ができなくなった時、タクシー券。介護用品の支給（紙おむつ）。
- ・本人は自宅を望むだろうが、そのために周りにかかる負担は大きい。在宅でもそうでもなくても車

イスのままでないと外出できない。要介護5でもタクシーの補助がないのはなぜなのか。

- ・福祉タクシー利用援助の充実。

11 相談について

- ・地域包括支援センターなどで相談して、困った時には指導・助言等をもらいながら、私なりに後悔のないよう介護していきたい。
- ・現状の生活で不便さを感じた時は、担当課へ相談に行く。

12 手続きの簡易化について

- ・介護に対する書類等返信が多い。高齢になり、目、頭が鈍くなってつらい。よく似た書類が届く。
- ・介護する本人の色々な手続きのため本人を同行しなければならない時があったが、できるなら回数を少なくしてほしい。介護、高齢者福祉に感謝している。

13 本人のサービス利用拒否について

- ・認知が進んでいるのに家族以外の介護サービスを受けようとしなない。絶対嫌と言っている。
- ・家族や認知症で通院している担当医もデイサービスやリハビリを勧めるが、本人が拒否をして介護の制度を受けようとしなないので心配。家の中では伝って歩けるが、外は一人では歩けない。トイレが毎回間に合わない。訪問も嫌がるので困っている。

14 アンケートについて

- ・アンケート内容が難しい。答えは一つではない。脳と身体すべての麻痺がある者に対しての質問内容ではないと思う。
- ・調査対象としてアンケートをもらうが、本人は幼少の時から知的障害者のため、物事の判断ができず、常に誰かの介助が必要であり、介助なしでは生きていけない。
- ・現在100歳で耳が聞こえず、問いかけに理解ができなくなっているため、このアンケートの本人の希望等は聞き取りができない。今後介護者が病気になった場合は施設に入所することになると思う。
- ・質問の意味が不明で答えられない（「以外の」は何を示しているのかわからない）。70代が90代の面倒をみるのはとてもつらい。
- ・養老介護なので、仕事に関するアンケートには答えられない。
- ・忌中のため、読む気がない。
- ・このアンケートをもっと単純にしてほしい（例えば、1. 2. 3に○をつけたら次の頁の3へ飛んで回答とか）。高齢者には書けない。
- ・現在は何を問われても、今までの生き方での現在、何をどうこう言うことはできない。
- ・睡眠時間が減るので、今後、アンケート依頼は送付不可でお願いしたい。

15 その他

- ・訪問医療が充実するとありがたい。
- ・無理をしなくても仲良く生きていけることを望む。時々食事に、買い物に、旅に、行きたい時がある。時々のことには行政サービスを活用したい。それが自己介護のポイントだと思う。

- ・介護する自分の体力が下がってくるのが心配。ある施設で行っているストレッチ体操等、気軽に参加できる所があるといいと思うが、そこでは初回1回だけである。
- ・長い間多くの人に支えてもらい協力してもらい、今の生活を続けていられることに感謝している。介護している自分も70代となり、度々変わる介護のシステムなどに慣れるのにはエネルギーがいる。なるべく慣れた環境で安心して暮らせていけたらと願っている。

